

大日本刑法註釋大成

畝戶編田輯

特41

513

東京圖書館

函四四

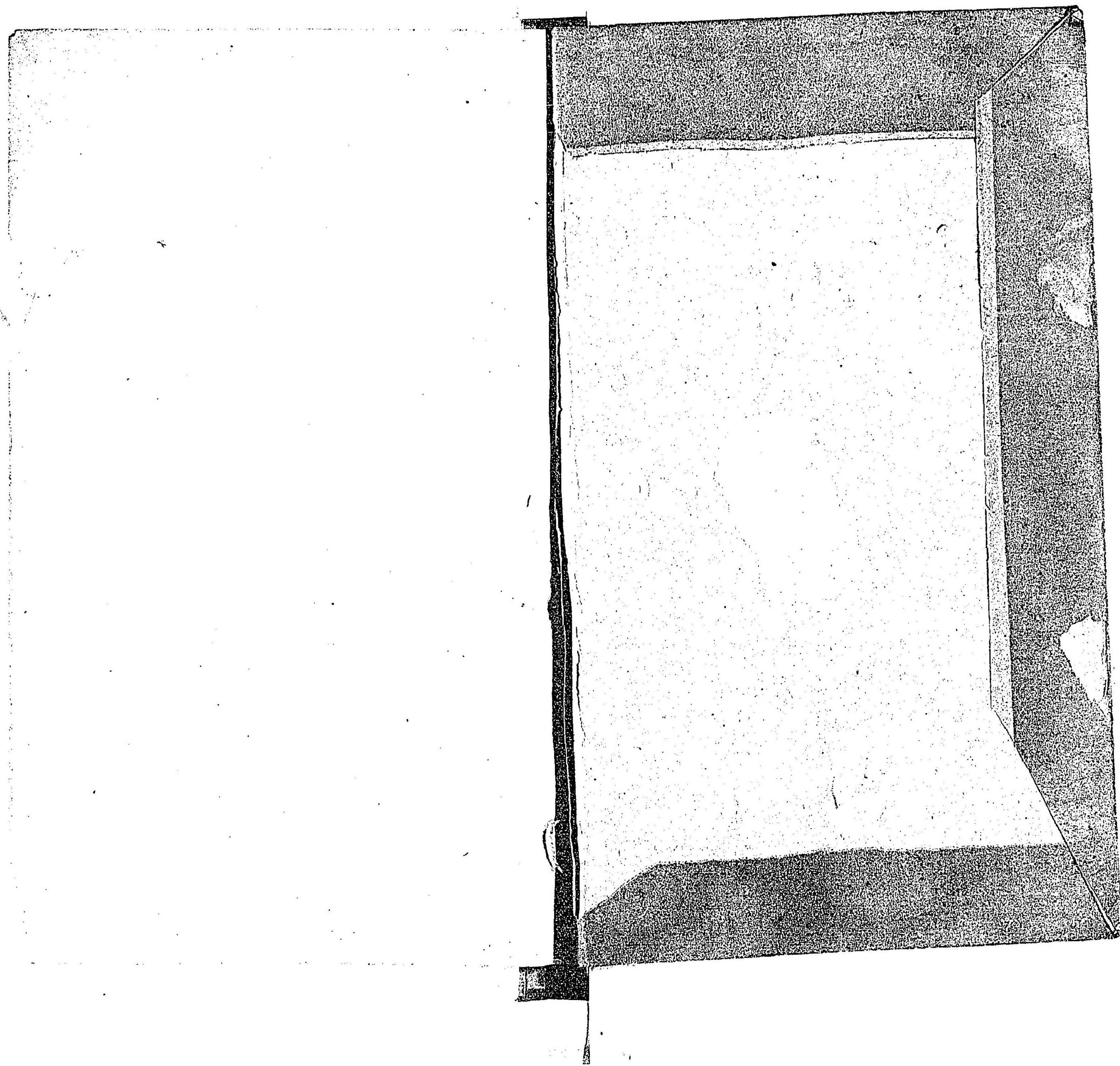
門新

架三

部一一

號

類



第三篇 身體財產ニ對スル重罪輕罪

凡テ人が罪ヲ犯スノ最モ多キハ此ノ刑法中此ノ第三篇ニ如クモノナカレベシコ  
ノ第三篇ハ人ノ身體生命ニ關スルヤ動産不動産ナドニ關スル所ノ重罪ト輕罪  
ヲ掲クルモノナリ

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

人ノ身體ニ關スルノ罪ノ中ニ就テハ人ヲ殺スヲ以テ最重ノ罪トスベシ謀殺ト  
ハ首謀ヲ以テ人ヲ殺シタルヲ云ヒ故殺トハ時ニ臨ンテ故ラ二人ヲ殺シタルヲ

謀殺ノ罪

豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ處ス

故殺ノ罪

手ヤナドヲ本トシテ豫メ人ヲ殺サンコトヲ謀リ終ニ死ニ致シタルモ  
中ニテ最重ノ罪ナリ已レ人ヲ殺ス已レモ先スルハ素ヨリ理ノ然ラシ

毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

有毒質ノモノヲ以テ人ニ食セシメ人ヲシテ死ニ至ラシムル如キハ素ヨリ豫メ謀  
リテナセシモノニ相違ナケレハ前條ノ如ク謀殺ヲ以テ論シ人ヲ死ニ致サシメタ  
ルカラハ已レ死スルノ理ニ本ケ論ヲ俟タズ

第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ處ス

故意ヲ以テ人ヲ殺スモノハ謀殺ヨリハ輕シト虽尼歐殺ヨリハ重キモノナリ抑モ  
故殺ト云フモノハ豫メ人ヲ殺サント謀リタルニハ非ズシテ時ニ臨ミテ殺ス意ヲ  
生ジタルモノナリ依令バ甲乙ノ兩人大ニ喧嘩シ終ニ腕力ニ訴フルニ至リ腕力ニ  
訴フルニ至ルト虽尼未ダ殺意ハナケレ腕力ニテ鬪争中憤怒大ニ加ハリテ終ニ  
殺意ヲ生シテ相手一方ヲ殺スニ至ルモノナリサレバコソ一時ノ憤怒ニ出デシ殺  
意ナレハ之レヲ豫メ謀リテ殺シタルモノト同日ノモノニ非ズ因テ罪ヲ減シテ死  
ヲ宥メタルモ亦々一理アル如シ

第二百九十五條 支解折割其他慘刻ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

豫メ謀ラズシテ故ヲニナシタルモノト虽尼人ノ四肢ヲ分解シ人ノ腹内ヲ割キテ  
生膽ヲ採リ胎兒ヲ採リ毒蛇ニ人ヲ嚙マシメ又ハ湯火ニテ燒爛ラス如キ残酷千萬

ナルトヲナシテ人ヲ殺シタル如キハタトヘ故意ニ出デシモノタリ尼其ノ慘狀実  
ニ厭惡スベキモノナレバ無論死ヲ免ガル、一能ハサルモノトス

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為  
メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

已レ重罪輕罪ヲ犯サントスレ尼人ノアリテ犯ス一能ハズ依テ其ノ人ヲ殺サズ已  
レ罪ヲ犯ス便利ナリトスル時ヤ又ハ已レ重罪又ハ輕罪ヲ犯シテ其ノ犯シタル罪  
ヲ掩フニ便利ナルヨリ人ヲ殺ス如キアアルキハタトヘ故殺タリ尼罪ヲ遂ゲ又ハ  
罪ヲ免ガレンタメニ人ヲ殺シタルモノナレバ尋常ノ鬪争セシ故殺ノ如キヲ以テ  
論ズ可カラズ其ノ死ヲ免ガル、一能ハズトス

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故  
殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

偶然ニ出デ、人ヲ殺サントシ或ハ險路ヲ教ヘテ險中ニ墜ラシメ、誘導シタル橋梁  
ヲ渡ラシメテ河中ニ落テ為メニ死シタル如キハ偶然ニナリシモノナレハ故殺ヲ  
以テ論ズベキモ人ヲ殺サントシテ豫メ其ノ用意ヲナシ、指針ヲ構ヘテ人ヲ陥シ入

レ處ニ至ラシメ旅店ノ天井ヲ落スベキ工風ヲナシ置キテ旅人ヲ殺ス如キハ取り  
モ直サズ之レ謀殺ナリ

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀殺故殺ヲ以テ論ス  
殺サント欲スル目的ノ人ヲ殺スニ当リ誤テ他人ヲ殺スキハ即チ目的ノ人ヲ殺ス  
ト同様ニ論スルナリ之レ他人ヲ殺スノ意ニ非ズト虽元ト人ヲ殺スノ惡意ハ誤リ  
ヲ論ズベキモノニ非ズ因テ人ヲ謀殺スルタメニ他人ヲ殺シタルモノハ謀殺ヲ以  
テ論シ死刑ニ處シ人ヲ故殺スルニ付キ他人ヲ殺シタルモノハ故殺ヲ以テ論シ無  
期徒刑ニ處スルナリ

第二節 殴打創傷ノ罪

人ヲ打チたゞ一キ疵ヲ附ケタルモノヲ刑スルヲ云フナリ

第二百九十九條 人ヲ殴打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

コノ人ヲ殺シタル所以ハ決シテ初メニ人ヲ殺スノ意ヲ以テセシニ非ズ至ク一時  
ノ憤怒ヨリ人ヲ打チたゞ一キタルニ其ノ疵ヨリシテ終ニ死ニ至リタルモノナレバ  
謀殺ノ如ク豫メ人ヲ殺サントセシモノヨリ輕カルベク又タ故殺ノ如ク鬪争中故

ラニ殺意ヲ生ジテ人ヲ殺セシモノヨリモ輕カルベク至ク殺意ナクシテ殺セシモ  
ノナレバ其ノ罪タルヤ謀殺故殺ニ比スル甚タシク輕キモノナリ

第三百條 人ヲ殴打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折り及ヒ舌ヲ斷テ陰

陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ癱疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

本條ハ人ヲ打チテ癱篤疾者トナスモノニテ兩目ヲ傷シテ物ヲ視ルル勿ラシメ兩  
耳ニ傷ケテ物ヲ聽ク勿ラシメ舌ヲ斷チテ物ヲ言フ勿ラシメ兩手又ハ兩足ヲ  
折リテ手又ハ足ノ運用ヲ欠キ男子ノ陽莖女子ノ陰門ニ傷ケテ生育ヲ失ハシメ人  
ヲ痴呆トナシ瘋癲トナス如キハ人間ノ括弧ヲ欠グノ甚ダシキモノナレバ其ノ罪  
輕カラズ去レ元ト斯クノ如ク癱篤疾ニナサントシテ殴打セシモノニハ非ザル  
ベケレバ少シク情ヲ酌ムベキアリテ斯クハ重罪中ノ最輕ニ処セラレ、ナルベシ  
其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折り其他身體ヲ殘廢シ癱疾ニ致シタル者ハ二  
年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

前項ノ癱篤疾ハ人間ノ幸福ヲ失ハシムルモノナレバ後項ノ癱篤疾ハ之レト少シ  
ク輕クシテ一目ヲ視ルル能ハザラシメ一耳ヲ聽クル能ハザラシメ片手片足ヲ運

用スル一能ハザラシメ其ノ外身体ヲ傷メ學生不具者タル一ヲ得ルモノニシテ前  
項ヨリハ尚ホ其ノ罪輕キ筈ナリ

第二百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ営ム一能ハサ  
ルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

人ヲ打チたゞ、きテ之レヲ傷メ夫レガタメ被害者ハ二十日以上病ニ臥ス如キニ至  
リ又ハ職ノアルモノガ之レガタメ二十日以上職ヲ休ム如キニ至ルキハ其ノ罪ヲ  
レ比前條ニ比スレバ輕キ一ハ素ヨリナリ

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

病ニ臥ス一二十日ニ足ラズ又ハ職ヲ休ム一二十日ニ足ラザル如ク打チたゞ、きセ  
ラル、比ハ二十日以上ノ者ト比スル輕キ一論ヲ俟タズ

疾病休業ニ至ラスト虽モ身体ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮  
ニ處ス

病ニ臥ス一ナク又ハ職ヲ休ム一モナケレ比打チたゞ、きセラル、タメ身体ニ少シ  
ク傷ケラル、比ハ前項ヨリモ尚ホ罪ハ輕キモノナリ

第二百二條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業ヲ爲シ又ハ死ニ致シタル者ハ前條ニ記  
載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百九十九條ヨリ第三百一條マテニ載セタル毆打創傷ノ罪ハ豫メ謀リタルモ  
ノニハ非ズシテ時ニ臨ミテ激怒シタルヨリ起リタルモノナルガ今又タ此ノ條ハ

第二百九十九條ヨリ第三百一條マテノ罪ニシテ其ノ各條豫メ謀リテナセシモノ  
ヲ論ジタルモノナリ豫メ謀リテ為セシモノハ素ヨリ一時ノ激怒ニ比スレバ其ノ

罪重カルベキナリ

第二百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人  
ヲ毆打創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百九十六條ハ故殺ノ事ニカ、リ本條ハ毆打創傷ノ事ニカ、ルト虽モ其ノ犯  
ス車輛ニ至リテハ均シケレバ今註釈ヲ釋シヌ

第二百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス  
之レモ亦タ第二百九十八條ト犯ス車輛ヲ同シタス只ダ彼レハ故殺謀殺ニカ、リ

本條ハ毆打創傷ニカ、ルノ意ナルノ三故ニ畧ス

第三百五條 二人以上共ニ入テ殴打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共ニ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルル能ハサルハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

二人以上ニテ人ヲ殴打スルハ同ジク手ヲ下ス上ハ正犯徒犯ヲ區別スル詔令ニハ至ラズシテ其刑スベキナリサレバ多ク殴打セシモノト少シク殴打セシモノト同ジク論ズルハ之レ亦タ理ニ當ラザルモノナレバ各々たゞ其傷所ノ輕キト重キトニヨリテ其ノ罪ノ輕キト重キトヲ區別スルナリ

然ルニ二人以上ガ乱レ打テニナシテ誰レノ殴打セシモノガ輕キカ誰ガ殴打セシモノガ重キカ不分明ナル時ハ殴打セシモノノ傷ノ重キヲ以テ數人ヲ同ジク刑スサレバ誰レノたゞキシモノカ輕キモノアルベケレバ之レ等ヲ酌三テ罪ノ一等ヲ減スルナリ斯ク減ズルナレバ人ヲ救ヘ啖カシテ殴打セシメタルモノハ減等スベカラザルベキナリ

第三百六條 二人以上共ニ三人ヲ殴打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖ハ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

假令バ甲ナル人ガ乙ナル人ニ丙ナル人ノ手足ヲ押ヘシメテ自由ニ動クヲ得ザシメズシテ甲ガ丙ヲ殴打スルハ誠ニ自在ナリ之レ乙ナル助ケアル故ナラズヤ故ニ乙ハ甲ヨリハ少シク罪輕シト雖ハ又々助ケテ殴打セシメタル罪ヲ免レザルナリ

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ殴打創傷スルノ例ニ照シテ處斷ス

毒藥ノ如ク人ノ生命ニ關スルモノニ非ズトモ人ノ健康ヲ害スベキモノ施シテ人ヲ苦シメタルモノ及ビ忍ブ可カラザル毒物ヲ人ノ口鼻等ニ注入スル如キヲナスモノハ豫メ謀テ人ヲ殴打シ創傷セシモノト均シク之レヲ論ス

第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖ハ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ヲ以テ論ス

第二百九十七條 八人ヲ殺スノ意ニ出テタルモノニテ本條ハ人ヲ殺スノ意ニ非ザルモノナレバ事犯ハ同ジカルベキモ其ノ意ハ及スル如シ依テ之レ等ハ謀殺故殺ニ論ズベキモノニ非ズ即チ本節ナル殴打創傷ノ各本條ニ因テ刑ニ處スベキ

ナリ

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不諭罪

宥恕不諭罪ナドハ總則ニ載セタレモ此ノ節ハ或ル罪ニヨリテ特ニ設ケタルモノナリ即チ人ヲ殺シ人ヲ傷ケナドナシタルモノニ關スルモノヲ云フ

第三百九條

自己ノ身體ニ暴行ヲ受クルニ因リ直チニ怒ヲ発シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

他人ガ已レノ身體ニ向ツテ乱暴ヲナスヨリ其ノ乱暴ニ對シ大ニ怒リヲ発シ乱暴ノ人ヲ殺シ傷ツクル等ノ一アルハ其ノ殺シタル罪ヲ宥恕スルナリサレモ已レ正シカラザルヲナセシヨリ向原カラ暴ヲナス如キ場合ニ殺シ傷ケタルハ宥恕ヲ以テ論ズルノ類ニ非ザルナリ

第三百十條

歐打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下ス先後ヲ知ル能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルヲ得

二人ガ喧嘩ヲナシ終ニ歐打シテ双方ガ創ヲ負フモ其ノ初メニ誰レガ先キニ打ち出シテカワカラヌ時ハ就レガ罪アルモノカ罪ナキモノカ不分明ナレハ之レヲ裁

判官ノ見込ニテ宥恕スルハ差問ヘザルナリ

第三百十一條

本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス

已レノ妻ガ他人ト姦通ヲナシ居ル處ヘ行キカ、リ姦通ヲ見テ怒リニ堪ヘズ其ノ密夫又ハ密婦即チ妻ナリヲ歐打シテ之レ等ヲ殺シ又ハ傷ケルモ情ノ止マザルヨリ出ルモノナレバ罪ヲ宥恕スルナリサレモ初メニ夫トガ已レノ妻ト他人ト密通スルヲ許シテ置キテ其ノ場ニ臨ミ見兼ねテ殺シタル傷ケタリスルモノハ宥恕スベキ限リニ非ザルナリ

第三百十二條

晝間故ナク人ノ住居シタル家ニ入り若クハ門戸鑿壁ヲ踰越損壞セ

ントスル者ハ其ノ罪ヲ宥恕スルモノニテ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス  
夜間二人ノ賊案ニ入りナドスルモノヲ防グタメ殺傷スルモノハ次條ノ如ク罪ヲ論ゼザレモ晝間ハ防グニモ易ク能ク人ノ休裁ヲ認メ得ル能フモノナレバ不諭罪トナス可カラス假令ハ白昼ニ門戸ヲ鎖シアルモ二人アリ門戸ヲ破ラントスルカ又ハ牆壁ヲ越ヘントス依テ入ル能ハザル者ヲ論スト虽モ氏聽カズ甲防ゲバ乙



ハ入ラントシ互ニ抗抵ノ末終ニ防ギ止ルノ手荒クナリ為メニ殺シ又ハ傷ツクルニ至ルハ人ノ誠懲トモ云フベキ任郎ニ入ルヲ防グタメノモノナレバ殺シ傷クルノ罪ハナキニシモアラザレバ素ヨリ宥恕スルニ正ニ然ルベキナリ

第三百十三條 前教條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第三百九條ヨリ第三百十二條マデノ罪ヲ宥恕スルニハ各其ノ犯シタル本刑ヨリ情ニヨリテ二等カ又ハ三等ヲ減輕スルモノナリ

第三百十四條 身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ムコトヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ為メニシ他人ノタメニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

暴行人アリテ已レニ害ヲ加ヘントスル時ニ當リ暴ヲ以テ暴ニ代ル如キ即チ乱暴人アルニ付キ怒リヲ発シテ却テ乱暴人ヲ殺傷スル如キハ正當ノ防衛トナスベカラズ正當ノ防衛トハ乱暴セラル、ニ付キ止ムヲ得ズ之レニ已レノ身体ノ守ルダケノ防ギヲナスモノニテコノ正當ノ防ギヲナスニ當リ其ノ防衛上ヨリ乱暴人ヲ

殺シ又ハ傷クルニ至ルハ真ニ止ミヲ得サルコトナレバ罪ヲ問フベキモノナシトス其ノ他人ノ身体ヲ蔽ヲタメニ乱暴人ヲ殺シ傷ケスルモノモ其ノ情同ジキナリ去レレ乱暴人が乱暴ヲナス根元ハ已レヨリ乱暴ヲナサシムルノ仕業ヲナシタルヨリセシモノニテ已レ需メテ乱暴ヲナサシメ乱暴スルノ際ニ當リテ俄カニ前ノ如クナスレ之レハ止ミヲ得ザルニ非ザレハ罪ヲ論セザルノ類ニ非ズ

今茲ニ正當防衛ノコトニ付キシセント云フ西洋人言ヲ左ニ掲ゲテ讀者ノ参考ニ供ス

正當防衛ノ權ハ上帝ノ法ナリ書ニ載セズシテ傳ハル法ナリ即チ人ト相共ニ生シテ人制ノ法タルヲ俟タズ又人ノ口碑ニ因ラズ百般ノ書籍ニ先ダツ所ニシテ造化ノ法典ニ刻シ以テ世ノ人ニ与フル所ノモノナリ此法典ヨリ此權ヲ授ケシ此法ヨリ此權ヲ拔出ス蓋シ此法ハ學バズシテ心ニ感シ教ヲ俟タスメ神ニ知ルモノナリ此法ヤ世ノ人ニ向ヒ大ニ呼テ曰ク凡テ慾深ク怒情ノ毒釵ヲ用ヒ惡造意ノ為メニ危害ヲ受クルルニハ防衛ノ仕方ノ如何ナルヲ問ハズ皆ナ之ヲ正當ノ所為ナリトス

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論  
セズ

仮令ヘ乱暴ヲナスモノアリトモ已ムヲ得ルニ非ズンバ人ヲ殺傷ス可カラズ人  
ヲ殺傷スルモノハ乱暴迫リテ我カ身又ハ我ガ財産ヲ危クシ捨置キガタキキニ之  
レヲ防クヨリ起リタル殺傷コソ止ニヲ得ザルモノト云フベケレ故ニ左ノ三ヶ項  
ニ記載シタルモノヲ犯スモ罪ヲ問ハズトス

一財産ニ對シ放火其他暴行ヲ為ス者ヲ防止スルニ出タル時

已レノ財産即チ動産ヤ不動産ニ向テ火ヲ放タントシ又ハ其ノ外乱暴ヲ以テ已レ  
ノ財産失ハシメントスルモノアリテ之レヲ防グニ當リ乱暴人ヲ殺スニ至リ傷ク  
ルニ至リタル時ナリ

二盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時

已レノ動産ヲ盜三取ラントスル者ヲ防グニ當ルカ已ニ盜マレタル品物ヲ取り還  
サントセシキニ當リ盜人ヲ防ギ又ハ取還スノ際ニ盜人ヲ殺シタリ傷ケタリスル  
モノヲ云フ

三夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止  
スルニ出タル時

夜間ハ、昼間トハ異ナリテ安眠スルノ時ナレバ人ノ救ヒヲ乞フ雖ク又タ防衛  
ノ術ニモ六ヶ敷ケレバ彼第三百十二條ノ如キ振舞ヲ夜間ニナスキハ罪ナキ勿論  
ナリ

第三百十六條 身體財産ヲ防衛スルニ出ルト虽已ムヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴  
行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者  
ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥怒スルヲ  
得

元ト已レノ身体ヤ動産不動産ナドヲ乱暴ニテ害ヲ加ヘラレ又ハ奪ハル、タメノ  
防衛ニ出デタルナレト強チ暴人ヲ殺傷ニ至ラス如キ防ギヲナサズトモ外ニ防ギ  
ノ仕様ノアルキカ又ハ乱暴已ニ畢リタル中或ハ盜取リタル品ヲ捨テ、逃去リシ  
モノヲ尚ホモ打チ急、く如キニ至ルキハ至ク其ノ所行止ニヲ得ザルニ非ズシテ  
求メテ為ス一ナレバ罪ヲ論ゼザル類ニ非ズ必ズ罪ヲ問フベキナリサレトモ其ノ場

訂條第三  
百十三條  
前條條三  
記載シタ  
ル宥怒ス  
ベキ罪ハ  
各本刑ニ  
照シ二等  
又ハ三等  
ヲ減ス

合ノ情ニヨリテハ罪ノ二等又ハ三等ヲ宥恕シテ減ズルコトアルベシ

第四節 過失殺傷ノ罪

人ヲ殺スノ意ナク人ヲ傷クルノ心ナシト虽凡過テ人ヲ殺シ過テ人ヲ傷ケタル  
モノヲ云フナリ

第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セズ過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ

二十円以上二百円以下ノ罰金ニ處ス

疎虞懈怠トハ注意セズ又ハ怠慢シタルコトヲ云ヒ斯クノ如ク注意セズ又ハ怠リタルカ或ハ其ノ土地風習ニテ仕末リタルカ又ハ規則アルモノナドヲ守ラザル等ノ  
コトアルヨリ過チテ人ヲ殺シタルモノハ罪大ナレ凡初メ二人ヲ殺スノ意アラズ  
真ニ誤ツテ誤テアリナガラ殺シタルモノナレハ其ノ罪重キニ非ザルナリ

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癡篤疾ニ致シタル者八十円以上百円以下ノ罰

金ニ處ス

癡篤疾ノ一ハ第三百條ニ注釈シタル如キ者ニシテ謀意ニアラズ故意ニアラズ真  
ニ誤テ人ヲ創ケ夫レガタメ癡篤疾トナリタル片ハ本條ノ罰金ヲ科セラルハナリ

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタルモノハ二十円以上五十  
円以下ノ罰金ニ處ス

疾病休業ニ至ラシムルコトハ第三百一條ニ註釈シタリ前條ノ如ク謀意故意ニアラ  
ズシテ誤テ人ヲ創ケ夫レガタメ病ニ又ハ家業ヲ休マシムルニ至ルモノハ前二條  
ニ比シテ其ノ罪尚ホ輕キモノナリ

治罪法中ニ載スル如ク被害者ノ賠償ハ被害者ノ請求ヲ以テ請求スルモノナルユ  
ヘ前三條ノ罰金ハ皆十官ノ庫ニ納ムルコトナルベシ

第五節 自殺ニ關スル罪

人ニ自殺ヲ教ヘ唆カシ又ハ人ノ自殺スルノ助ケヲナサシムルモノヲ罰スルコト  
ヲ云フナリ決シテ自殺者ノ死屍ヲ罰スルモノヲ云フニ非ズ

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ為メニ手ヲ下シ  
タル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス其  
他自殺ノ補助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

仮令バ茲ニ物品ヲ行ナル一人アリ親屬朋友ナドヨリ之レヲ責メテ自殺セシメ又ハ

自殺者ヨリ依頼セラレテ介錯ナドナスハ其事タル法律ニヨラズシテ擅ニ私ニ人命ヲ隕サシメ又ハ人命ヲ隕スノ手傳ヲナスモノナレバ善ナリト云フ可カラズ素ヨリ惡ムベキ所行ナレ其ノ事タルヤ至ク義ヲ重シジ人情ノ忍ブ可カラザルヨリ起ルモノ故之レヲ役ニ服セシムルニ忍ビズ因テ輕禁錮ニ處シテ斯クハ服ヲ免セシムナルベシ

教唆シ又ハ介錯ヲナシタルモノハ斯ク刑ニ處セラルト雖モ自殺スベキ物品ヲ貸与ヘ自殺スベキ仕方ヲ教ヘタル如キモノハ自殺ヲナサシメ介錯ヲナス等ノモノト比ブレバ素ヨリ罪ノ輕カルベキ筈ナリ

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス已レノ利ヲ得ンタメ人ヲ自殺ニ教唆スル如キハ其ノ罪ヲ惡ム可キ前條ノ類ニ非ズ假令バ妾タルモノガ已レ本妻ヲランコトヲ欲シ事故ヲ構ヘテ本妻ヲ自殺セシメタル如キ或ル家ノ相續ヲナサント欲シ現戸主即チ相誦人ナリノ自殺ニ教唆シタル如キノ類ナリ前條ハ義理人情ヨリ教唆シテ自殺セシメシモノ本條ハ利己ノ意ヨリ教唆シテ自殺セシメタルモノナレバ罪ノ重キモ服役セラルモ亦々論ヲ俟

タズ

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

本節ハ官吏ノ擅捕ニアラズ人民タルモノガ擅マ、ニ人民ヲ捕ヘ又ハ留メ置クコトヲ云フナリ

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

現ニ罪ヲ犯シタル人アラバ之レヲ誰レガ捕フルモ差問ヘハナケレモ現ニ罪シタルモノニ非ザルカラハ人民トシテ之レヲ捕フルコト能ハズ之レヲ留メ置クコト能ハザルモノトス故ニ人民ガ漫リニ人民ヲ捕ヘ又ハ漫リニ我が家内ニ閉チ込メ置ク如キコトヲナスモノハ罪アリ而メ我が家内ニ閉チ込メ置クコト日長ケレバ罪モ亦タ大ナル罰金ニテ十日毎トニ罪ハ一等ヅ、ヲ加フルナリ茲ニ我が家内二人ヲ閉チ込メ置クコト十一日ニ至ルハ一等ヲ加ヘテ十三日以上二月十五日以下ノ重禁錮ニ處シ二四五十錢以上二十五円以下ノ罰金ヲ附加セラル、ノ類ナリ

第二百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛酷ノ所為ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

漫リニ人ヲ我が家へ閉チ込メ又ハ己レノ威力ニ任カシテ縛リツケ而メ之レヲたゞキタリ種々ノ拷問ナドナシ又ハ食イ物ヲ食ラフセズシテ餓セシメ衣物ヲ衣セズシテ寒ヘサス如キ無残至極ノ事ヲナシタル者ハ素ヨリ前條ヨリモ其ノ罪重シ

第二百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

擅ニ人ヲ閉チ込メ又ハ捕ヘ縛リタル上ニテ前條ノ如ク拷問シタリ打チたゞキタリシテ終ニ病ニ罹ラシメ劍ケシメ或ニ致シタル如キコトアルハ其ノ罪輕カラス

第二百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコト怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

人ヲ漫リニ我が家へ閉チ込メ中洪水火事地震ナド如キ災イ起リタルニ其ノ閉チ込メタルモノヲ出スコト後レタルヨリ終ニ閉チ込メラレシ人ハ死シ又ハ傷ツケラル、如キコトニ至ラバ其ノ罪ハ即チ前條ノ如ク毆打創傷ヲ以テ處分セラル、ナリ

第七節 脅迫ノ罪

人ヲ威シタリシテ己レノ勢ヒニテ人ヲ恐レサセ人ノ身体ヤ財産ヲ害セシメシモノヲ罪スルヲ云フ

第二百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

人ヲ殺サント威力ニテ迫リ立テ人ノ住居ル家ニ火ヲ附ケテ燒クベシト威シ立テル如キハ大ニ之レガタメニ人ヲ感セサスル詭合ニテ為メニ人心ヲ動カス音ナラザレバ斯クハ刑ニ處セラル、ナリ

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上十円以下ノ罰金ヲ附加ス

人ヲ打チたゞキテ創ヲ附ケタリ其ノ外我が家へ閉チコメ威シテ縛ル如キコトヲナ

サント威シテ迫リ立ルガ或ハ家ヤ建物ヤ船ナドノ如キ物ヲ火ニテ燒キ又ハ毀于  
又ハ掠メ取ラント威シテ迫リ立ル如キハ前項ニ比スレバ人ノ恐懼スルコトモ少ナ  
ケレバ罪モ輕シトス

第三百二十七條

兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

人ヲ殺スベキ器械ヲ携ヘテ前二項ニアル罪ヲ犯スルハ人ヲ恐懼ナサシムル最モ  
甚ダシキモノニシテ其ノ心意甚ダ惡ムベキモノトス依テ其ノ罪重キナリ

第三百二十八條

親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ亦竊ニ同シ

人ニ向フテ其ノ人ノ親屬ニ前二條ノ如キ害ヲ加フルト云フテ其ノ人ヲ威シタテ  
ル片ハタトヘ其ノ人ノ身デナクトモ親屬ノ身ニ迫ルトアレバ其感情我ガ身ニ害  
ヲ加ヘラルト同ジワケ合ナレバ罪モ亦タ同ジキナリ

第三百二十九條

此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ其親屬ノ待テ

其罪ヲ論ス

人ニ脅迫セラレテ其ノ身ニ恐懼ノ感情ヲ起サシムルノ如何ハ其ノ身ノ膽力アル  
ト膽力ナキトニ由ルモノナレバ膽力アルモノハ恐ル、トモ少ナク膽力ナキモノ

ハ恐ル、トモ多シ故二人ニヨリテ害ヲ受クルノ輕重アルベシ之レ本人又ハ其ノ  
親屬ヨリノ告訴ヲ待テ始メテ其ノ罪ヲ論ズル所以乎

第八節 墮胎ノ罪

婦女が孕ニタル子ヲおろすト云フナリ、懷妊ノ婦人が自ら子ヲおろすト他人  
ガ他ノ婦人ノ子ヲおろさせルトヲ罰スルノ節ナリ

第三百三十條

懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下

ノ重禁錮ニ處ス

凡ソ人トシテ陰私ニナスト陽公ニナストアリ墮胎ノ如キハ必ズ陰私ニ成ル  
トナレバ強テ之レヲ発カザルヲ以テ又々善トハ為サザル乎全体婦女トシテ已レ  
ノ生命ノ危フキオモ願ミズ胎内ノ子ヲおろす所以ハ私ニ通ジテ懷胎シ親戚ニ  
露ハストヲ忌ミ世上ニ面目ヲ失スルヲ恐ル、ノ廉恥ヲ重ンズル心アリテ生ズル  
モノナレバ其ノ罪少シク恕スベキモノナシトスベカラス

胎内ノ子ト虽氏均ジク之レ人ナレバ人命ヲ絶ツハ生レタル人ト虽氏未ダ生レザ  
ル子ト虽氏敢テ異ナルベキトハナカルベシト虽氏其ノ人間社會ニ現出セシモノ

ト未ダ形ハレサルモノト比スレバ又多少シク輕重ナシトス可カラズ而已ナラズ胎内ノ子ハ未ダ分娩スルカ分娩セザルカ豫メ知ルコト能ハザレハ之レヲ社會ニアル人ヲ殺シタルモノト何ゾ同日ニ論ズベケンヤ況シマ廉恥ノ重ンズルノ變スベキ心アルモノニ於テオヤ

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

孕ニ女ト同シ情同シ憂ヒニテ夫又ハ密夫ナドガ禁ヤ又ハ其ノ外ノ仕方ニテ其婦又ハ密婦ニ墮胎セシメタルモノハ本人即チ孕婦ガ自カラざるモト其ノ罪同ジサレ其ノ禁ヤ又ハ其ノ外ノ仕方ニテおろそニ當リ婦ヲ死ニ致シタルモノハ其ノ罪ノ重キハ勿論ナリ

第三百三十二條 醫師藥師又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シ兇者ハ各一等ヲ加フ

醫者ヤ取揚ゲ婆又ハ葉屋ガ前條ノ即チ禁ヤ其ノ外ノモノヲ以テ孕女ノ胎内ノ子ヲおろそタルキハ本人ヤ本夫ヤ密夫ナド廉恥ヲ重ンジテ為セシ類ニ非ザレハ其ノ罪素ヨリ重キナリ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十條ヨリ第三百三十二條マデハ懷胎ノ婦女ガ自ラ好ニテ為スモノナレト本條ハ之レニ反シテ婦女ノ墮胎ヲ欲セザルニ他ノ人が婦女ヲ威シ立テ、迫リ又ハ欺キ騙シテ墮胎セシムルモノニテ其ノ情最モ重シトス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルコトヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

懷胎ノ婦女ト知リタナラ勢メテ大切ニ取扱フベキ筈ハ勿論ナルニ却テ其ノ婦女ヲ打チたゞき其ノ外荒々敷トチナシ夫レガタメ墮胎シタルキハ其ノ罪輕キニ非ズ然リト雖モ知リテ為スノト知ラズシテ為セシトノ違ヒアリ知ラズシテ為ススハ本條ニ依ルナリ

右ハ墮胎ヲ為サシムルノ心底アリシモノニハ非ザルナリ其ノ墮胎ヲ為サシメント欲スルノ心底ヨリシテ打チたゞき其ノ外荒々敷コトヲナシ夫レ故ニ墮胎シタ

ルモノハ一層ニ其ノ罪重キナリ

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ歐打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

懷胎ノ婦女ヲ威シ迫リ欺シ騙シテ隨胎セシメ又ハ懷胎タルヲ知リテ打子たき又ハ隨胎セシメントシテ打子たき夫レガ爲メ隨胎セシムルニ當リ其ノ婦女ヲ癡篤疾トナシ又ハ死ニ致シタル如キアラバ歐打創傷ニ照シテ論ゼラルハ免レザルナリ

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

兒子ヤ老人ヤ病ニ罹リシモノヲ棄テタルモノノ罪ヲ云フナリ

第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

八歳以下ノ子供ハ如何ノ罪ヲ犯ストモ其ノ罪ナキモノナリ故ニ八歳ヲ限リテ幼者ノ別ヲナス八歳以下ノモノハ未ダ智モナク識モナキモノナルニ之レヲ捨ツル如ギ必ズ貧困ヨリスルモノナル可ケレバ少シク其ノ貧ヲ顧ミテ罪ヲ重クセズ

又貧困ノ犯罪者ニ罰金ヲ附加スルモ甲斐ナケレバ罰金ヲ附加セザルナリ

自ラ生活スルヲ能ハサル老若疾病者ヲ遺棄シタル者亦同シ

人ノ養ヒヲ受ケズンバ已レ自ラ生活スルヲ能ハザルモノハ尚ホ八歳以下ノ兒供ト同ジナレバ之レヲ棄ツルモノハ前項ト同ジク論スルナリ

第三百三十七條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寡獨無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

八歳ニ滿サル子供ヤ老人ヤ病人ナドヲ極々さびしくシ人ノ居ヌ所即チ山ノ中ヤ林ノ中ヤ曠キ野ナドヘ捨テタルモノハ無論前條ヨリハ罪重キ詎ナリ

第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

人ノ養ヒヲ乞ハンタメ定タル給料ヲ与ヘテ人ノ養ヒヲ託シソレヲ受合ヒタル者ガ前二條ノ如ク養ハルベキ人ヲ棄ツル如キアラリテハ尚ホ又タ罪ガ重キナリ

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ癡疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ致シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス



何レノ處ヘ棄テタルニヨラズ幼者ヤ老人ヤ病人ナドヲステ、夫レガタメ、痲疾即チ一生涯治ラヌ病ヲ起シタルモノハ輕懲役ニ處分シ篤疾即チ殆ンド死セント欲スル程ノ病ヲ起シタルモノハ重懲役ニ處分シ死シタルモノハ有期徒刑ニ處スルナリ

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルコトヲ知テ之ヲ扶助セズ又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

已レノ扣ヘ地又ハ守ルベキ地ノ内ニ子供ヤ老人ヤ病人等ヲ捨テ、アルコトヲ知りナガラ之レヲ助ケモセズ之レヲ官ニ申出テモセズ其僂ニ捨テ置クモノモ罪アリ若シ疾病ニ罹リ看守スル者アルコトヲ知テ扶助セズ又ハ申告セサル者亦同シ此ノ項ハ棄テラレタルニ關セズ已レノ扣ヘ地ヤ守ルベキ土地ノ内ニ外カラ病人ガ来テ目マヒシテ倒レタルヲ知りナガラ助ケルコトモナサレバコレ亦タステ、アルモノヲ助ケヌト同ジキ罪アルナリ

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

幼キ者ヲ無理ニ連れ出シテ奪ヒ取りタリ欺シ騙シテ連れ出ス如キコトアリシ中ノ罪ヲ云フナリ

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ略取シ又ハ誘拐シテ有テ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上百円以下ノ罰金ヲ附加ス

十二歳以下ノ子供多クハ女子ニシテ娼家ヘ賣ラン工三ノモノ多シヲ無理カラ奪ヒ取り欺キ騙シテ連れ歸リ自ラ之レヲ藏シ置キタリ又ハ外々ノ人ヘ渡シタルモノ奪ヒ取ルト騙シテ連れ歸ルトニ論ナク一ニ處分ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ略取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

十二歳以下ト十二歳以上トハ法ニ於テ大ニ異ナリ二十歳ヲ過グレバ丁年者ナルコトヘ丁年ニ滿タズ十二歳ヲ過ギタルモノト十二歳以下ノモノニ比スレバ大三智

モ擄ク身体モ自由ナリサレバコソ無理ニ奪フ(畧取)ト欺キテ連レ歸ル(誘拐)トハ別ヲ立テズンバアラス故ニ畧取ハ重クシテ誘拐ハ輕キナリ

第二百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルコトヲ知テ自己ノ家属(僕婢)ト為シ又ハ其他

ノ名稱ヲ以テ之ヲ收買シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

奪ヒ取り騙シ取りタル子供デアルコトヲ知リナガラ已レノ家内トナシ家来トナシ

下女トナシ又ハ藝妓娼妓ナド、ナスタメニ之レヲ受ケトリタルキハ尚ホ盜賊ト

知リナガラ之レヲ買ヒ受ケル如キモノニシテ罪アレバ前ノ二ケ條ノ其ノ取りタ

ル人ヨリハ輕キナリ

第二百四十四條 前數條ニ記載スル罪被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但

畧取誘拐セラレタル幼者ニ從テ婚姻ヲ為シタル時ハ告訴ノ效ナシ

第二百四十一條ヨリ第三百四十三條ニテハ大凡(淫)ト同ジキモノニテ婦女子ナ

ドノ最モ恥ル所ナリ若シ世上ニ公ケナルキハ其ノ身不幸ニモ婚姻スルコトモ出采

難キ次第トナレバ其ノ當人カ親屬ノモノカテ訴へ出デズバ官ニ於テ其ノ罪ハ論

ゼザルナリ訴へテ聽テ始メテ罪ヲ論ズベシサレバ奪ヒ取ラレタル婦女子ガ公然

タル儀式ニヨリテ婚姻ヲナシタラバ最早ヤ其ノ身ハ潔白トナリタルカラハ別ニ

訴へ出デタル凡罪ヲ問ハヌトシタリ

第二百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲

役ニ處ス

本節ニテハ皆ナ輕罪ニ處スルニ特リ本條ノ三重罪ニ處スルモノハ何ゾヤ抑モ故

アルナリ本條ハ殆ンド奴隸賣買ニ準テタルモノニシテ日本人ニシテ外國人ニ奪

ヒ取りタルモノヲ交付スルト云ハ必ズヤ年期ヲ定メテ之レヲ賣リ渡スニ相違

ナカル可ク既ニ賣リ渡ス外國ニ於テ如何ノ苦役ニ處セラル、カ實ニ想フベキナ

リ其ノ數百千里外ノ波濤ヲ隔テタル海外ニ苦役ニ服セシムル本人ノ心情ハ如何

ゾヤ忍ビサル所ナリ之レヲ輕懲役ニ處セシルモ理人當ニ然ル可キモノナリ人ノ

自由ヲ束縛セラル、奴隸ヨリ甚ダシキハナカルベシ

第十一節 猥褻及淫重婚ノ罪

男女ノ交通ハ人ノ自由ニ任カス故ニ之レヲ刑ニ處セズト虽モ第二百五十八條

ニ載セタル如ク猥褻ナル醜體ヲナシタリ一妻ニシテ二夫ヲ有スル等ノ如キコ

并ニ幼者ニテハノ暴行汚ス如キハ刑ニ處スルナリ此ノ節ハ之レ等ヲ云フ

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行ヲ迫リテ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

男女十二歳ニ滿タザルモノハ春精未ダ補サザルモノト云フベシ其ノ精慾ナキ男ニ淫事ヲナサントスルハ至ク欺シ騙シテヨリ成ル事ナレバ十二歳以上ノ男女ニ向ヒ暴行ヲ以テ為セシ淫事ト同ジク論ズベシ本條ハ至ク英淫シタルニハ非ズシテ淫ニ或ハ手ヲ觸レテ淫ヲナス如キモノナラン手ヲ以テ淫ヲナスモ素ヨリ貞操ニ関スルナリ彼ノ難女男ガ男ヲ蒸スルヲ云フノ如キモ同ジキトス

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行ヲ迫リテ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス前條ハ暴行ヲ以テ迫リ為シタルニ非ズ本條ハ暴行ヲ以テ迫リ為スモノニシテ所為ハ同ジケレトモ暴行ヲナスト為サザルトハ大ニ異ナリ前條ノ罪ノ比ニ非ルナリ

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス十二歳以上ノ婦女ト夫ノアル婦人ヤ其他孀婦阿孀等ヲ渾テ稱スルモノニシテ之等ノモノガ兼知セザルヲ強テ腕力ヲ用ヒテ姦淫スル即チ強姦ニシテ其ノ罪輕カラズサレトモ未ダ姦淫ヲ遂ゲザルモノハ前條ノ罪ニ處スルナリ

強姦等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

タトハ暴行ヲ以テシ腕力ヲ以テセズトモ藥劑ナドヲ用ヒテ昏マシ睡ラシ酒ナドヲ吞セテ精神ヲ乱ラシ夫レニ乘ジテ姦淫スル如キハ其ノ婦ノ承諾上ヨリセシニ非ズ本氣ヲ失ハシメテ為セシ姦淫ナレバ私通ヲ以テ論ズ可カラズ強姦ヲ以テ論ズベキナリ

第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタルモノハ重懲役ニ處ス

第三百四十六條第三百四十七條ハ猥褻ノ處行ヲ為スモ未ダ姦淫ヲ遂ゲザルモノ

ヲ刑スルモノニ係リ本條ハ其ノ遂ケタルモノニ係ル十二歳以下ノモノハ情慾ナ  
キモノナレバ之レヲ強姦スル必ズ欺騙ヲ以テセザル可カラズ之レ十二歳以上ノ  
モノヲ強姦スルト同一ニ處分スル所以ナリ尚ホ十二歳以下ノモノヲ強姦シタル  
モノハ一等ノ刑ヲ加フルモ論ヲ俟タザルナリ

**第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス**  
猥褻姦淫ハ略取誘拐ト同ジク強姦ノモノニシテ之レヲ公ニスルハ其ノ婦女ル  
モノ終身汚穢ノ名ヲ免レザルユハ被害者又ハ被害者ノ親屬等ヨリ訴フルコトナク  
ンバ罪ヲ論ゼザルコトス之レ罪人ヲ刑ニ處スルタメニ却テ良人ヲ害フノ恐レア  
レバナリ

**第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷  
ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス但強姦ニ因テ癡瘖疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ  
處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス**

第三百四十六條ヨリ第三百四十九條マデノ諸罪即ハ子猥褻ノ所行ヲナシ姦淫ヲ  
ナシタルガタン其ノ被害者ヲ傷ケ又ハ死ニ至ランシタルハ殴打創傷ニ照シ重

キヲ以テ夫々處分スベシ其ノ中強姦淫ハ最モ其ノ情惡ム可キモノナルユハ強姦  
ノタメニ廢疾又ハ篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ尚ホ夫々其ノ罪重キモノナリ

**第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六  
月以下ノ重禁錮ニ處シ二十円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス**

和姦ハ人ノ自由ニシテ幼者有夫ノ婦等ヲ除ク外ハ法律ニ於テ罪ノ問フベキモ  
ノナシト虽モ和姦ノ熾シナルヲ以テ決シテ良風俗トナス可カラズ風俗ヲ濫ルノ  
一端トモ云フベケレ抑モ其ノ淫奔ノ風ヲ来タスモノハ職トシテ幼者ノ頭腦ニ感  
情セシヨリスルモノニシテ成ル可ク弱年者ノ淫事ハ防ガズンバアラズ人カ淫事  
ヲ教諭セズトモ必ズ自然ノ智識ニテ爲スコトヲ得ベケレバ幼者ヲ誘フテ姦淫セシ  
ムル如キハ大ニ害アリトス本條ニ十六歳未滿クモノニ淫事ヲ勸メコノ仲謀ヲナ  
シタルモノニ刑罰ヲ加フルモ蓋シ此ノ所以カ

**第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦  
スル者亦同シ**

此条ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ

效ナシ

貞女兩夫ニ仕ヘズト云フテ一ト度ビ人ノ婦トナルヨリハタトヘ其ノ夫ガ死スル  
 トモ再ビ佗ニ嫁セザルヲ以テ本分トセリ至林女ノ最モ尊アベキモノハ貞操ニシ  
 テ人ノ婦トナリタルカラバ其ノ夫ニ身ヲ任カスハ世ノ普通ノ道義トセリ故ニ彼  
 ノ英國ノ如キハ再嫁ヲ許スト虽尼再嫁ノ婦ハ帝王ニ謁見スルヲ許サズルト云  
 フ程ニ貞操ヲ崇メタリ夫レ斯クノ如ク貞操ヲ崇ムル可キ有夫ノ婦ニシテ佗人ト  
 密通スル如キヲアルキハ第一婦人ノ德義ヲ破リ夫ヲ輕シスルノ甚メシキモノニ  
 シテ之レヲ罪スル素ヨリ輕カル可キモノニ非ザルナリ其ノ有夫ノ婦ヲ姦スル密  
 夫モ亦タ同ジキモノニシテ婦人ノ德義ヲ乱サシ本人ヲ輕シスル其ノ罪亦タ婦人  
 ト均シキナリ

然リト虽尼夫ニシテ其ノ誅ヲ為サズンバ罪ヲ論ズベキモノナシトス之レ私陰ハ  
 成ル可ク公發セザルノ精理ヨリ起リシモノナレバナリサレニ其ノ初ノ夫ガ歿シ  
 シテ為サシノタル姦通ハ夫ノ誅ヘアルモ效ナキナリ之レ大抵夫ガ利慾上ヨリ起  
 リテ婦ニ姦通セシノ置キ計策ヲ以テ之レヲ捕ヘ金ヲ得テ后ヲ許容スルモノ多キ

ニ居レバナリ

第三百五十四條 配偶者アルモノ重子テ婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上三年以下ノ重

禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

本夫アルモノカ別ニ夫ニ嫁シ本妻アルモノカ別ニ妻ヲ迎フルニ皆ナ法式ニ從フ  
 テ婚姻ヲナスモノヲ重婚トハ云フナリ之レ夫婦ノ正道ヲ紊リ德義ヲ破ルモノニ  
 シテ其ノ婚姻ハ行政ノ處分ニテ解カシムベケレニ其ノ罪ハ甚メ輕キモノニハ非  
 ザルモノトス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

誣告トハ實ナキトテ言ヒ掛ケスルトニテ誹毀トハ人ノ榮譽ヲ害スベキトテ摘  
 發スルモノニテ誣告ハ實アルトハ言ヒ掛ケトナスベカラズ誹毀ハ事實ノ有無  
 ヲ問ハズ罪スルトス

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シ各者ハ第三百二十條ニ記載シタル偽証

ノ例ニ照シテ處断ス

枕ナリ怨ミナリ妬ミナリ怒ナリ凡ソ斯クノ如キ更ヨリ罪モナキモノヲ官ニ訴ヘ

訂金第二  
 百二十條  
 註釈ニ解  
 附シタル  
 故略ス

出テ罪ニ階ラサント欲シ又ハ輕キトニテモ重キトナリトテ官ニ訴ヘ出ルモノニテ斯クノ如キトナシタルモノハ第二百二十條ニ照シテ處分ス即チ

人ヲ重罪ニ誣告シタルモノハ二年以上五年以下ノ重禁錮十円以上五十円以下ノ罰金ニ處ス

人ヲ輕罪ニ誣告シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮四円以上四十円以下ノ罰金ニ處ス

人ヲ違警罪ニ誣告シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮二円以上十円以下ノ罰金ニ處ス

**第二百五十六條** 誣告ヲ爲スト虽モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

無キ事ヲ有ルト云フテ訴ヲ爲スト虽モ訴ヘラレタルモノハ吟味ヲ始メ又先キニ訴ヲ爲シタルモノガ自首シタルヲ其ノ罪ハ免ルサルトトス

**第二百五十七條** 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百三十一條第二百三十二條ニ記載シタル例ニ照シテ處断ス

註釈ニ  
詳ナレバ  
附シス

本条ハ反座ノ刑ヲ云フモノニテ被告人訴ヘラレタルモノハ一ト度ビ刑ニ處セラレタルモノハ之レニ反座スベキナリ

誣告ノタメ被告人刑ニ處セラレタル后チ發覺シタルモノハ誣告者ヲ其刑ニ反座ス若シ反座ノ刑カ誣告ノ刑ヨリ輕キモノハ誣告ノ例ニヨリ處断スルナリ其ノ刑ノ期限内ニ於テ發覺シタルモノハ日數ニ照合シテ反座ノ刑ヲ減ズサレモ減ジテ誣告ノ刑ヨリ降ストハナラヌナリ

誣告ノタメ被告人死刑ニ處セラレタルモノハ反座ノ刑一等ヲ減ズ未タ刑ヲ執行セザルモノハ二等ヲ減ズ去レモ被告人死刑ニ階ルノ目的ニテ誣告シタルモノハ死刑ニ反座スルナリサレモ刑ヲ執行セザル前チ第一等ヲ減ズルナリ

**第二百五十八條** 惡事實行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ左ノ例ニ照シテ處断ス

第三百五十五條ヨリ第三百五十七條マデハ誣告ノ罪ヲ處分スルモノノモノニテ本条ヨリハ誹毀ノ罪ヲ處分スルモノナリ人ノ惡事ヤ醜キ事ナドヲ言ヒ觸ラシテ

人ノ榮譽ヲ譏謗スル如キトアルモノハタトヘ共ノ事アルトモナキトモ同ジク罰ス

ルモノナリ左二

二公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

多クノ人ヲ聚メ其ノ前ニ於テ公然ナル演説ヲナシ人ノ榮譽ヲ害スル如キコトアルハ其ノ罪アルナリ

二書翰圖表公布シ又ハ演劇偶像ヲ作為シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五十円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

書ニ記シ圖ニ畫シ芝居狂言ニ仕組三人形ナドヲ作りテ人ノ醜キ行ヒナドヲ諷刺シテ世ニ公ニ布キ派ク世間ニ留ムル如キコトアルハ一時言語ヲ以テ演説スルヨリハ其ノ罪重キ釋ケナリ

第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出タルニ非ザレバ前条ノ例ニ照シテ處断スルコトを得ス

人ヲ誹毀スルハ生者死者ニ限ラズ同ジク罪アルナリサレモ生者ノ如キニ非ザルコトハ生者ナラバ事實ノ有無ヲ問ハズト云フコトアレモ死者ニ對シタルモノハ無實

ヲ罰シテ有實ヲ罰セザルコトズ若シ死者ノ實事ヲモ言フ可カラズトセバ後世ノ歴史家ハ何ヲ以テカ修史スルコトを得ン故ニ生者ト死者ト茲ニ同クセザル所以ヲ示セリ

第三百六十條 醫師藥商醫士又ハ代理人辯護人代書人若クハ神官僧侶其ノ身分職業ニ

於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

醫者ヤ藥商ガ其ノ職ニテ人ヲ陰私スベキ罪疾ヲ知リテ故ラニ他人ニ漏シ告ゲ取上ゲ婆ガ私通ノ子ヲ陰私セズバナラズコトヲ知リナガラ故ラニ他人ニ漏シ告ゲ代言人辯護人代書人ナドガ人ノ委託ヲ受ケタル秘密ノ事ヲ故ラニ漏シ告ゲ神官僧侶ガ其ノ身分デアリテ加持祈禱着シクハ人ノ懺悔ニテ知リタルコトヲ故ラニ漏シ告ゲタル如キコトアルハ之レヲ人ヲ誹毀シタルモノトシテ論ジ其ノ刑ニ處ス若シ裁判所ニテ陳述スベク裁判官ヨリ申聞ケラレタル中ハタトハ人ノ榮譽ニ關スルコトアリモ之レヲ陳述スルニ本条ヲ以テ論ズベカラズ

第三百六十一條 此節ニ記載シタル誣毀ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

誣告ナリト官廳ニ訴ヘ出レバ不問ニ置カレザルハ勿論ナレ共モ誣毀ノ如キハ人ノ榮譽ニ關係スル甚ダシキ者ナレバ官カ誣毀者ヲ處分シテ却テ誣毀ゼラレタモノ、榮譽ヲ害スルガ如クニ成ルガ故ニ本人ガ訴ヘ出ズンバ決シテ官ニ其ノ罪ヲ問ハザルトス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

子孫ガ其ノ父母ヤ祖父母ニ對シテ爲セシ罪ヲ云フモノナリ此ノ罪ハ國民カ天皇ニ對シタル如ク定メテ罪ノ重キモノトス

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シニ等ヲ加フ

凡人ノ刑ニテモ謀殺ハ死刑ニ處スルニ故殺ハ無期徒刑ナリトス然ルニ子孫ノ父母祖父母ニ於ケルハ尚ホ臣民ノ君主ニ於ケルガ如キモノナレバ最重ノ刑ナリトス故ニ故殺ト重ニ死刑ニ處スルナリ謀殺ハ凡人ノ刑ト同ジキ所以ハ刑ハ死刑ニ止ルモノナレバナリ

子孫カ父母祖父母ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ介錯ヲナス如キ親屬中最大ノ情重アルヲモ顧ミテ減シモノナレバ凡人ノ刑ニ等ヲ加ヘテ處分スルナリ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シテ殴打創傷ノ罪其他強盜脅迫遺棄誣告誣毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本条ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シニ等ヲ加フ但瘡疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

子孫ガ祖父母父母ナドヲ殴打シ創ヲ負ハセタリ閉テ込メタリ威シ進リタリ棄テ遺シタルヲ無實ノ訴ヲナシタリ世間ニ向ツテ誹リ纏ヒタリスル如キハ親子ノ間柄ニアル可カラザルモノニシテ其ノ所行甚ダ惡ム可キモノトス之レ凡人ノ刑ニ等ヲ加フル所以ナリ

子孫ガ祖父母父母ニ向ツテ前項ノ如クナシ夫レカタメ廢疾トナシ篤疾トナシ死ニ至ラシメシ等皆ナ其ノ罪重ク本条ノ刑ニ處スルナリ

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シテ衣食ヲ供給セズ其他必要ナル奉養ヲ缺キ



名者六十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二百以上三千円以下ノ罰金ヲ附加ス  
因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前条ノ例ニ同シ

子孫カ祖父母父母ニ向ツテ養フベキ衣服ヲ與ヘズ食物ヲ供ヘズ其ノ外養フニ付  
要ナル者ヲ與ヘズナドシテ養ヲ缺ク如キトアルハ子トシテ親ヘ對スル大切ノ義  
務ヲ欠ギシモノトコソ言フベケレ其ノ罪適ルベカラズ然ルニ夫レガタノ祖父母  
父母ヲ病人タラシメ又ハ死ニ致ス如キニ至ルハ前条ノ如ク夫々刑ニ處セラル

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ有罪及ヒ不論罪ノ例ヲ用  
フルトテ得ズ但其犯ス時知ラザル者ハ此限ニ在ラス

子孫カ祖父母父母ヲ傷ケ又ハ殺シタルモノハ人倫上最重ノ惡莫ナレバ之レニ特  
別ノ宥恕ヲ用ユベカラズ又夕情ヲ酌デ罪ヲ論セザル如キトテナス可カラズ去レ  
ル其ノ傷ケ又ハ殺シタル時ニ祖父母父母タルトテ知ラザリシハ本条ノ限りニ  
非ザルトス

第二章 財産ニ對スル罪  
動産 不動産即チ人家土地ヨリ金銀諸道具ニ至ルマデ渾テ人ノ所有ニ對シ爲スル

第一節 竊盜ノ罪

竊盜ト云フハ人ニ向ツテ暴カテ用ヒズ竊カ二人目ヲ忍ビテ他人ノ物品ヲ已レ  
ノ物品トナシ其ノ品ノ持チ主ニ相談モセズ許シモ受ケズシテ取り出スモノヲ  
云フナリ

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ  
重禁錮ニ處ス

晝間夜間ニ拘ハラズ已レノ物ニ非サル他人ノ所有物ヲ已レノ所有物トナシ又ハ  
之レヲ他人ニ與ヘシタメ所有入ニ相談モナサズ竊カニ之レヲ取出スモノトハ  
家ノ外ノ物ヲ取ルトモ渾テ之レヲ竊盜ト云フ彼ノ拘摸モ此ノ部ニ入ルナリ

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘ジテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下  
ノ重禁錮ニ處ス

洪水ヤ火車ヤ地震ヤ難船ヤ騷乱ナドノ如キ非常ノ時ニ竊レ込三人々必死ノ場合  
ニシテ防禦シ難キヲ幸ヒトシテ竊盜ヲナスモノハ人ノ疾苦ヲモ顧ミザルノ情惡

ムベシ依テ前条ノ窃盜ヨリモ罪重キモノトス

**第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ貯宅倉庫ニ入り窃盜ヲ犯シタル者悉前条ニ同シ**

門ノ戸ヤ牆壁ヤ壁ナドヲ越ヘタリ毀テ損ジタリ又ハ宅ヤ倉庫ナドノ錠ヲ開キテ之レニ入り窃盜ヲナスモノハ全ク第三百六十六條ノ窃盜ト異ニシテ其ノ心意横着ナリ因テ之レヲ前条ノ罪ニ宛ツルナリ

**第三百六十九條 二人以上共ニ前三条ノ罪ヲ犯シタル者ハ各ニ等ヲ加フ**

窃盜ヲ爲スニハ一人ニテスルヨリハ二人以上ニテ爲スヲ易シトス故ニ罪ヲ爲スニ易キモノニハ罪モ重カラズシバアラズ之レ第三百六十六條ヨリ第三百六十八條マデノ犯罪ヨリ本条ノ罪ヲ重クスル所以ナリ

**第三百七十條 兇器ヲ携帶シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り窃盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス**

人ヲ殺スベキ器械ヲ携ヘタルモノハ人ヲ殺スベキ惡心アルモノニ相違ナカルベシ故ニ此ノ器械ヲ以テ人ヲ殺シ人ヲ傷ケズトモ其ノ惡心ヲ以テ他人ノ所有物ヲ

取り立テタルカラハ其心惡ムベシトス之レ着シモ他人ガ其ノ所有物ヲ奪ハル一ヲ知リテ拒ム所ハ兇器ヲ以テ當ルノ心ナルベク故ニ通常ノ窃盜ニ比スレバ其ノ罪重シトス

**第三百七十一條 自己ノ所有物ト異ニ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ窃取シタル者ハ窃盜ヲ以テ論ズ**

タトヘ自分ノ物タリトシテ他人ニ渡シアルモノヲ窃カニ取出シ又ハ自分ノ物タリトシテ政府カラノ指圖ニヨリテ他人ガ守リアルモノヲ自分ガ窃ニ取リタル時ハ共ニ窃盜ノ罪ナリトス之レ我カ所有物タリト重臣一ト度ビ他人ノ手ニ渡ス可キ理由アリテ渡シアルモノナレバ所有主タリトテ勝手次第ニ取扱フ可キ道理ナケレバナリ

**第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓他ノ產物ヲ窃取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス**

田ヤ畑ヤニアル五穀青物菓物其ノ外ノ作物ヲ窃カニ取りタルモノハ素ヨリ窃盜ナリサレモ之レヲ人ノ家屋倉庫ニアルモノヲ窃取スルモノニ比スレハ輕キト然

リトス

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ産物ヲ窃取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ関スル産物ヲ窃取シタル者ハ亦前条ニ同シ

山ヤ林ナドニアル竹木ヤ金銀銅鐵石炭石灰ノ如キ礦物ヤ菓物ヤ茸類ナドノ如キ産物ヲ窃ガニ取り川ナリ澤ナリ池ナリ沼ナリ湖ナリ海ナリニテ人が養ヒ又ハ植テアル魚鳥海苔牡蠣蓮根慈姑ナドヲ窃カニ取りタルモノハ其ノ情モ同ジケレバ其ノ罪モ同ジキナリ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ窃取シタル者ハ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

牧場ニ牧養シアル牛馬羊豚ノ如キ獸ヲ窃カニ取りタルモノハ田野山林ヨリ出ルモノヲ窃カニ取りシヨリハ一倍重キナリ之レ牧場ノ獸類ハ前二条ノモノヨリハ利益ノ一層重キモノナレバナリ

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

人ノ物ヲ盗ム如キハ殊ニ其ノ心中ノ惡シキモノニシテ廉恥ヲ破ル之レヨリ甚ダシキモノハナカルベシ故ニ輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサルモ罪ヲ論ゼザルノ類ニ非ズトス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

前条ニモ註スル如ク盜犯ハ心中ノ惡ムベキ廉恥ヲ破ルノ甚ダシキモノナレバ再犯ノ恐レナシトスベカラズ之レ監視ヲ付シテ再犯ヲ防ク所以ナリ

第三百七十七條 祖父母父母夫妻子孫及其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ窃取シタル者ハ窃盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラズ

若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ窃盜ヲ以テ論ス

第四百十四條 親屬例ノ第一項第二項第三項及ビ第四百十五條ナル此ノ三項ノ合意シタルモノヤ同居シテアル兄弟姊妹及ビ第四百十五條ナル兄弟姊妹ノ合シタル者ヤノ者等ガ互ニ家内ノモノヲ窃ニ取リタレバトテ窃盜ノ罪ニ合當スルトハナラズモノトス

若シ前項ノ者等ト他人ガ共ニ犯シ窃カニ取得タル物品ヲ分ケテ取リタルハ即チ窃盗スルノ意ガ分明ナルモノユヘ之レヲ窃盗トシテ論ゼズンバアラザルナリ

第二節 強盗ノ罪

窃カニ人ノ財産ヲ取ルハ窃盗ナレトモ公然人ノ家屋ニ入り暴ヲ以テ人ノ財産ヲ横取スル之レヲ強盗トハ云フナリ

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盗ノ罪ト爲シ輕懲後ニ處ス

人ヲ威シテ迫リ立テ又ハ乱暴ヲ以テ人ノ財物ヲ強テ横取リシタルモノ之レヲ強盗トハ云フナリ故ニ強盗ハ窃盗ニ對シタルモノト云フベシ

第三百七十九條 強盗左ニ記載シタル情状アル者ハ一毎ニ一等ヲ加フ  
一二人以上共ニ犯シタル時  
二兇器ヲ携帶シテ犯シタル時

第三百七十八條ナル通常ノ強盗ハ輕懲後ニ處セラルレトモコレハ一人ニテ強盗シタルモノナレバ斯クノ如ク刑セラルトモ兇器強盗ニシテ二人以上共ニ犯シタル

勢カ一人ヨリ強キ故之レヲ重懲後ニ處シ兇器ヲ携ヘタルモノハ尚ホ其ノ罪重クシテ有期徒刑ニ處セラルナリ

第三百八十條 強盗人ヲ傷シタル者無期徒刑ニ處シ死シタル者ハ死刑ニ處ス

強盗ハ甚カ悪ムベキモノナリ其ノ強盗ニシテ人ヲ傷シ人ヲ殺ス其ノ惡之レヨリ重キハナシ故ニ強盗一人ナルト多人ナルト兇器ヲ持テ兇器ヲ持セザルト論セズ均シク之レヲ刑ニ處スルニ傷ケタルモノハ無期徒刑トナシ殺シタルモノハ死刑ニ處ス

第三百八十一條 強盗婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

婦女ノ節操ヲ破ラスベキ強姦ト人ノ財物ヲ横奪スル強盗ト共ニ行ハントスル其ノ心實ニ惡ム可キモノトス故ニ本条ニテハ強盗ヲ遂ゲザルト強姦ヲ亦テ遂ゲザルトニ拘ハラズ齊シク之レヲ無期徒刑トナスナリ

第三百八十二條 窃盗財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盗ヲ以テ論ス

始メハ窃盗ニシテ既ニ財物ヲ窃カニ取リ立チ去ラントスルニ至リ所有主ニ知覺

セラレ之レテ取り還サントスルヨリ其ノ時ニ臨ミ窃盗ハ之レテ所有主ニ還ス  
テ拒ミ其ノ時ニ臨ミテ乱暴ヲナシ又ハ威シ迫ル如キトアルハ假令ハ其ノ初ノ  
ハ窃盗ナルトモ之レテ強盗ナリトシテ論ズルナリ

**第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ酔迷セシメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盗ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス**

或ル時英國ノロンドンノ或ル旅籠屋ニ夫婦ニテ止宿セシモノアルカ一日同地ノ  
金玉ナドヲ商フ許ヘ注文シテ時機指環ナド貴重ナル物品沢山テ取寄セタリ然ル  
處コノ品ヲ持參セシ手代カ米ルヤ否ヤ旅人ハ毒藥ヲ侵ギタル手拭ヲ手代ノ鼻ニ  
押シ當テタリシニ一言ノ發スルコト能ハズシテ瞬間ニ氣絶シタリ因テ旅人ハ品物  
悉皆携ヘテ旅宿ヲ去リタレ極ノテ迅速ナル手段ニテアリケレバ誰レモ怪シミ  
シモノハナカリシト之ノ例即チ本条ノ一引例トモナルモノナリ之レテ強盗ナリ  
トスル素ヨリ論テ候タズ

**第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス**

前節窃盗ノ条ニ註シタル如ク盜犯ハ破廉ノ甚タシキモノナレバ再犯ノ恐レアル  
勿論ナリ況ンヤ強盗ニ於テオヤ夫レ之ノ附加刑アル亦タ宜ベナリ

**第三節 遺失物ヲ藏物ニ關スル罪**

遺失物ナリ埋藏物ナリ漂流物ナリ之レ等ノモノハ其ノ所有主ノ誰タルコト不  
分明ナルモノナレバ之ヲ取ルモノナリトモ強チニ盜罪ヲ以テ論ズ可キモノニ  
非ズ因テ強盜窃盗ノ區域ヲ別チ殊更ニ茲ニ一節ヲ設ケラレタリ

**第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還付セズ又ハ官署ニ  
申告セザル者ハ十一日以上三月以下ノ重懲罰ニ處シ又ハ二百元以上三十元以下ノ罰  
金ニ處ス**

入ノ取落シタルモノヤ流来リタルモノナドヲ拾ツテ隱シ置キ持チ主ヘ還シモセ  
不後所ヘ申出テモセズ已レガ匿シ置クモノハ殆ンド窃盗ニ似タルモノニシテ又  
タ罪アリ

**第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ亦前条  
ニ同シ**

已レノ持地デナク他人ノ持地ニ埋リテアリシ品物ヲ掘リ取りテコノ品物ヲ隠シ置キタルモノモ其ノ所行タル人ノ物ヲ竊カニ取り置クモノニテ前条ト同ジモノナリトス

**第三百八十七條** 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者**第三百七十七條**ニ掲ゲタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論ゼズ

遺失物漂流物埋藏物ナドヲ拾ヒ得テ之ヲ藏シ所有主ニ還サズ官ニ申出デザル者等ハ索ヨリ罪アル凡**第三百七十七條**ニモ註釈シタル如キ近親ノ者ニハ其ノ罪ナキナリ

**第四節 家資分故ニ關スル罪**

裁判所ヨリ身代限りノ所分アリタル中ニ已レノ財産ヲ明カニ出サズシテ種々手ヲ付ケル件ノ罪ナリ

**第三百八十八條** 家資分故ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

引条第三  
百七十七  
条 祖父  
母 祖母  
父母 母  
妻 孫及  
其配偶  
者又ハ同  
居ノ兄弟  
姉妹互ニ  
其財物ヲ  
竊取シタ  
ル者ハ窃  
盗ヲ以テ  
論ズルノ  
限リニ在  
ラス  
若シ他人  
共ニ犯シ  
テ財物ヲ  
分チタル  
者ハ窃盜  
ヲ以テ論

身代限ノ處分ヲ裁判所ヨリ申渡サレタラバ其ノ所有財産ヲ悉皆債主ニ引渡スハ論ヲ俟タザルモノナルニ却テ之レヲ藏シタリ他ハ預ケテ漏シタリ又ハ他人ト約束シテ債主ニアラザルモノヲ債主ナリトシテ故意ト負債ヲ多クシ其ノ約束人ト配分スル如キトアルハ實ニ編欺シタルム所爲ニシテ殆ンド詐欺取財ニ類スルモノナリ之レヲ罰スル勿論ナリ

右ノ約束ヲ受ケテ債主トナリ又ハ此ノ實額ヲ増スベキ世話ナドナシタルモノハ連類タルヲ免レズサレトモ罪人ニハ非ザルユヘ一等ヲ減ジテ處分スルナリ

**第三百八十九條** 家資分故ノ際簿類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ数人ニ其負債ヲ私債ニシテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

身代限ノ處分ヲ受ケシ上ハ我が身代ヲ有ノマ、示シ又タ債主一同ハ公平ニ割賦スベキ筈ナルニ之ヲ却テ身代ノ如何ヲ記載シタル帳面ヲ藏シタリ或ハ之レヲ棄テナドシ此ノ申渡アリシ後チ債主中ノ一方ハ荷擔シテ多クノ拂ヲナシ夫レカタメ公平ナル割賦ヲ破リテ一方ノ債主ニ迷惑ヲ堪ケル如キトアルハ惡ムベキ所

行ナリトハ金尺前条ノ自ラ爲ノニスルヨリハ少シク情ノ異ナルアリ因テ其ノ刑ヲ半バトス

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

人ヲ欺キ騙シテ財物ヲ得又ハ人ヨリ預リ置キタル財物ヲ勝手ニ取計フル罪アルヲ云フナリ

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ証書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減愛換シタル者ハ偽造ノ各本条ニ照シ重キニ從テ處断ス

人ヲ欺ギタマシ又ハ人ヲ威ドシタリシテ財物ヤ其ノ外証書ヲドノ欺キモノヲ騙リ取りナドスルハ殆ンド窃盜ノ如キモノニシテ少シク其情ヲ異ニスルノミトス故ニ窃盜ニ比シテ少シク罪ヲ輕クスルナリ

右ノ如キ所爲ヲ致スタン官ノ書類ヤ人民相互ノ書類ナドヲ偽リ作り又ハ其ノ書

類ノ文面ヲ増シタリ減シタリ又ハ書換ヘナドスルモノハ本条ニハ當テズシテ偽造ノ刑ノ各条ニヨリテ處分スルナリ

第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯乱シタルニ乘ジテ其財物若クハ証書類ヲ毀壞セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

二十歳ニ滿タザルモノハ知慮淺ク慮リ薄キモノトス之レ等ノモノヤ痴呆ヤ癡癡ノモノナド即チ一人前ニ足ラズ又タ利害ヲモ弁ゼザルヲ幸ヒトシテ之レ等ノモノハ財物ヤ証書ナドヲ受テ取りタル中ハ板令ハ欺シ騙ラストモ欺シ騙リシト同ジク論ジ前条ノ如ク刑ニ處スルモノトス

第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物價ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

板令ハ鍍金ヲ真ノ金ナリト人ヲ欺キテ販賣シ百目ノ量目ナル物品ヲ百二十目アリトシテ販賣スル如キモノニシテ又タ物ト物トヲ交換スルニモ同ジク量目尺度度物價ナドヲ變ジテ爲スモノハ即チ人ヲ欺キテ爲セシモノニ相違ナカルベシ因テ之レヲ詐欺取財ノ条下ニ當テテ論スルナリ

第三百九十三條 他人ノ動産ノ動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

冒認トハ他人ノ物ヲ我が物トナスノ謂ハレニシテ他人ノ持テ運ビノ出来ル品物即チ動産ヤ持運ビノ出来ザル品物即チ不動産ヲ我が物品ナリトシテ之レヲ賣拂ヒ又ハ他ノ物ト交換シ又ハ之レヲ抵當トシテ他人ヨリ金銀ナドヲ借り受ケタルモノ亦タ素ヨリ詐欺取財ナリ

自己ノ不動産ト虽尼已ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隠シテ他人ニ賣與シ又ハ重テ抵當典物ト爲シタル者亦同シ

タトハ自分ノ不動産ナルモ之レヲ抵當ニ差入タル上ハ其ノ抵當差入中ハ自分ノ所有タルヲ以テ取扱フハ出来又管ナリ然ルヲ之レヲ欺キ隠シテ他人ニ賣リ拂ヒ又ハ再ビ他人ニ抵當ニ差入ルハ如キハ亦タ詐欺取財タルヲ免レズ

茲ニ不動産ノミヲ載セテ動産ヲ載セザルモノハ不動産ハ持テ運ビノ出来ザルモノユハ債主ノ手ハ藏メサス可能ハザルヨリ欺隠シテ事ヲ成スニ易ケレバ動産ハ之レヲ抵當トナスハ必ズ債主ノ手中ニ藏ムルモノナルユハ容易ニ之レヲ欺隠

シテ更チ爲スト能ハザルナリ

第三百九十四條 前數条ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十条ヨリ第三百九十三条迄ノ詐欺取財ノ各条ノ刑ニ處セラレタルモノハ廉耻ヲ破ノ惡氣ヨリ起リシモノタルヲ免レザレバ再犯ヲ防カンタノ監視ニ付スルナリ

第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所爲アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

人ヨリ預リタル財物ヤ借受ケシ品物ヤ抵當ニ差入レラレタル品物ヤ其ノ外人ヨリ任セラレタル金錢品物ナドヲ漫リニ使ヒ拂ヒタルモノハ窃盜ニ似タルモノニテ其ノ罪アリ若シモ之レ等ヲ騙リ取り持テ遁ゲシタリ其ノ外欺ギ詐リノ所爲アル如キハ勿論詐欺取財ヲ以テ處分スルナリ

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト虽尼官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタ



刑余第三  
百八十八  
家貨  
分取ノ際  
其財産ヲ  
藏匿脱漏  
シ又ハ虚  
偽ノ負債  
ヲ増加シ  
タル者ハ  
二月以上  
四年以下  
ノ重禁錮  
ニ處ス  
情ヲ知テ  
竊盜ノ契  
約ヲ承諾  
シ若クハ  
其媒介ヲ  
爲シタル  
者ハ一等  
ノ減不  
父祖父母  
兄弟姉妹  
又同居ノ  
其配偶者  
子孫及ヒ

**百八十八條 例ニ照シテ處断ス**

ダトハ自分ノ所有ナル品ニハ相違ナキトモ行政官又ハ裁判所ナドヨリ取押ハラ  
レタル品物ハ自分ノモノタリ且自分ノ勝手ニ取扱ヒノ出来ルベキモノニハ非サ  
ルナリ然ルヲ之レテ藏シタリ拔カシタリスル如キアアルハ刑ニ處セラルハナ  
リ尚ホ之レ等ノ一ヲ身代限ノ内ニナシタルモノハ其ノ罪重クシテ二月以上四年  
以下ノ重禁錮ニハ處セラルハナリ

**第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲサル者ハ未遂犯罪ノ  
例ニ照シテ處断ス**

詐欺取財又ハ受寄財物等ノ刑ハ他人ニ迷惑ヲ来サス少ナカラザル惡情ヲ含ムモ  
ノナレバ其ノ罪ヲ未ダ遂ゲザルトテ罪ヲ問ハザル如キアアル可カラズ必ズ未遂  
犯罪ノ例ニ問フベキモノトス

**第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ  
係ル時ハ其罪ヲ論セス**

祖父父母夫妻子孫其配偶者又ハ同居シアル兄弟姉妹ハ已ニ第三百七十七條ニ  
モ註スル如キモノナルニ其ノ罪ハ論セザルトトス

**第六節 贓物ニ関スル罪**

贓物ニ関スル罪ニ付キ起リシ罪ヲ云フナリ

**第三百九十九條 強盜竊ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ  
爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三十円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加  
強盜ヤ竊盜ガ盜ニ得タルモノタルヲ知リナカラ之レヲ貰ヒ受ケタリ之レヲ預  
リタリ之レヲ故ヲ買ヒタリ又ハ之レヲ賣買ナドスル受人ナドニ立チタリスル  
片ハ其ノ罪アルナリ**

**第四百條 前条ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス**

前条ハ輕罪ナレ且其ノ所行惡ムベキモノアレバ再犯ヲ防カンタノ監視ニ付スル  
ナリ

**第四百二條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故  
買シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三十円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加  
強盜ヤ竊盜ガ盜ニ得タルモノタルヲ知リナカラ之レヲ貰ヒ受ケタリ之レヲ預  
リタリ之レヲ故ヲ買ヒタリ又ハ之レヲ賣買ナドスル受人ナドニ立チタリスル  
片ハ其ノ罪アルナリ**

**第四百三條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故  
買シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三十円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加  
強盜ヤ竊盜ガ盜ニ得タルモノタルヲ知リナカラ之レヲ貰ヒ受ケタリ之レヲ預  
リタリ之レヲ故ヲ買ヒタリ又ハ之レヲ賣買ナドスル受人ナドニ立チタリスル  
片ハ其ノ罪アルナリ**

**第四百四條 前条ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス**

前条ハ輕罪ナレ且其ノ所行惡ムベキモノアレバ再犯ヲ防カンタノ監視ニ付スル  
ナリ

買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ十一日以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

詐欺ノ取財ヤ隱匿シタル遺失物ヤ身代限ノ時ニ藏匿脱漏シタル財産ヤ官吏ノ受ケタル賄賂ヤ偽造スルタメノ器械ナドデアルコトヲ知リナカテ之レヲ貰ヒ受ケタリ之レヲ預リタリ之レヲ故ラニ買タリ之レヲ賣買ナドスル受人ニ立チタリスルハ罪アレヒ純然タル盜品ヲ斯クノ如クナセシヨリハ其ノ罪輕キナリ

第七節 放火失火ノ罪

放火ハさし火ニシテ失火ハ過テノ火車ナリ之レ等ノ如キコトナセシ者ヲ刑スルヲ云フナリ

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

火災ハ大ニ人ノ身体ト財産トニ害ヲ加フルモノナレバ甚多恐ルベキモノトス本条ノ人ノ住居シタル家屋トハ現住ノモノヲ云ヒタルモノニテ其ノ外学校會所芝居小屋ナドノ如キ登夜ニヨリテ人ノ居ル時ト居ラザル時トアリ人ノ居ル時ニ放火シタルモノハ本条ニ論ジ人ノ居ラザル時ニ放火セシモノハ次条ニ論ズルナリ

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セザル家屋其他ノ建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

人ノ住居セザル家屋トハ別荘茶店ノ如キ常ニ人ノ居ラザル處ヲ指シ其ノ外前条ノ註ニモ解キタル人ノ居ル時ト居ラザル時トアルモノ、其ノ居ラザル時ナドヲ指シタルモノニテ其ノ他ノ建造物トハ倉庫納屋ノ類ナルベシ之レ等ノ如キ素ヨリ延燒ノ憂ヒナシトハス可カラザルモ犯罪人ノ惡意ハ大ニ前条ヨリ少ナキモノアルベシ因テ一等ヲ減ジタリ

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

人ノ住居スルコト能ハザル如キ廢り家ヤ柴小屋炭小屋肥料ヲ入レアル小家ナド燒クモ延燒ノ恐レアルハ前ト同一ナレヒ其ノ犯罪人ノ惡意ニ至リテハ前条ヨリモ一層輕キモノトス因テ前条ヨリ二等ヲ減ジタリ

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶瀛車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

船舶瀛車ニテモ人カ乘リタルハ人ノ住居シタル家屋モ同ジコトニテ人ノ身体財産

ヲ害スル亦タ一ナリ故ニ第四百二条ノ如ク論ジテ死刑ニハ處分スルナリ

其人ヲ乗載セザル船舶漁車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス

船舶漁車へ人ヲ乗セタルモノヲ放火シタルハ前項ノ如シト虽凡人ヲ乗セザルハ第四百四条ト其ノ犯情ヲ同ジクス因テ罪モ亦々同ジキナリ

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ藪藁又ハ露積シタル柴草竹水其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ處ス

山ニ繁茂シタル水ヤ林ニ深立シタル竹ヤ田畑ニアル五穀ヤ積三上ゲテアル柴草ヤ竹ヤ水ヤ其ノ外種々ノモノニ火ヲ放ツモノレテ家屋建造物船舶漁車ナドニ比スレバ其ノ情最モ輕キモノトス因テ罪モ輕キナリ

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百二条ヨリ第四百六条マデハ他人ノ家屋并ニ財産ナドニ放火シタルモノナルカ本条ハ自分ノ家屋ニ放火シタルモノナリ自分ノ家ニ放火スル罪ナキカ如シト重臣夫レガタメ他人ニ損害ヲ與フルト少ナカラザルエハ斯クハ輕罪ニ處分ス

ルナリ其ノ自分ノ家屋タリトモ之レテ他人ニ貸與ヘタル片ハタトヘ我が物タリトテ他人ノ住居トナリ他人ノ財産ヲ貯ヘ藏メアルモノナレバ本条ヲ以テ論スルモノニ非ルベシ

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

斯クノ如キ監視ニ付セラルモノハ既ニ數条註釈シタルバ今茲ニ註釈セズ

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ二十円以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

過テ人ノ家屋財産ヲ燒キタルモノハ故意ニ出ルモノニ非ザレバ如何トモスルコト能ハズ之レ過失殺傷ト同ジキモノニシテ之レヲ貸夫ノ刑ニ處スルハ又々酷タルコトヲ免レズ因テ罰金ノニテ科スルナリ

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處断ス

火藥ヤ其ノ外ノ激ニ發スル如キ物品ヤ煤氣井トテ瓦斯ノ溜即チ石炭ノ氣ナリヤ蒸氣トテ湯氣ヲ入レタル器ナドヲ破裂セシメ夫レガタメ人ノ家ナリ人ノ財産ナ

リヲ毀テ損シタルモノハ矢張り放火ノ例ニ照シ故意ト破裂セシメタルモノハ放火ニ照シ過テ火ヲ失シタルモノハ失火ニ照スナリ

第八節 決水ノ罪

決水ノ罪ト云フハ堤防ナドヲ断テ水ヲ流ス可カラザル所ハ流シ大ニ水害ヲナセシモノヲ云フ

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セザル家屋其他ノ建造物ヲ漂失シタル者ハ重懲役ニ處ス

堤防ヲ切り崩シ又ハ水ノ關ヲ毀テ夫レカタメ人ノ住居シタル家ヲ流ス如キハ殆ンド人ノ住居シタル家ヘ火ヲ放テタルモノト同ジク之レエヘ二人ニ非常ノ損害ヲ致サセ人命ヲモ害スルニ至ル可ケレバ斯クハ重ク處分スルナリ  
人ノ住居シテナキ家ヤ其ノ外ノ建造物第四百二條第四百三條ニ註釈スル如シテ流シタルモノハ其ノ罪人ノ住居シタル家ヲ流スヨリ二等ヲ輕クスルナリ

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲

後三處ス

堤防ヲ切り崩シ又ハ水ノ關ヲ毀テ夫レカタメ田ヤ畑ヤ金屬石炭ナドノ玩ヤ牛馬羊ナドノ牧場等ヲ荒シタルモノハ人ノ住居セザル家ヲ流スヨリモ一等輕キモノナリ

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ルタメ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

他人ガ水ノ入用ナルヲ妨ゲテ水ヲ通ハサヌヨウニナシ又ハ自分ガ水ノ入用ナルユヘ堤防ヲ切り崩シタリ水ノ關ヲ毀テタリナシ又ハ水ノ道ヲ妨ゲナドスルモノハ其ノ害アルモ大ナラザルユヘ輕罪ニハ處スルナリ此ノ条ハ自分ノ利益ニ趨セテナセシモノナルユヘ罰金ヲモ附加スルト云フ也ラレタリ

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處断ス

水火ノ異ナルアレモ全體水害ト火災トハ均シキモノナリ故ニ過テ水害ヲ起シタルモノハ火ヲ失シタルト同ジク論ジ第四百九條ニヨリ二円以上二十円以下ノ罰

金二處分スルナリ

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

衝突ヤ其ノ外ノ手段ニテ大小ノ船ヲ覆シタル罪ヲ云フモノニシテ第六十九  
条ハ問接ノ船舶覆没ヲ示シ本節ハ直接ノ船舶覆没ヲ示スナリ

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ  
處ス但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス

衝キ當テタリ其ノ外種々ノ所爲ニテ人ヲ乗セタル大小ノ船ヲ覆ス如キハ必ず其  
ノ人ヤ財物ナドヲ損害サセシタメノモノニテ又々損害スルニ相違ナキモノナレ  
ハ乗リ込人ニ死人アルハ死刑ニ處シ船中ニ死人ナキハ一等ヲ減ズルナリ

第四百十六條 前条ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載セザル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處  
ス

前条ハ人ヲ載セタル船舶ヲ覆ヘシタル時ノ刑ヲ云ヒタルガ本条ハ人ヲ載セザル  
モノナル工ヘ其ノ罪モ亦至テ輕キナリ

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪

家屋敷ヲ打テ毀テ物品ヲ損ジ畜類ヤ草木ナドヲ害フノ罪ヲ云フナリ

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮  
ニ處シ二円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

人ノ住居スルト住居セザルトニヨラズ人ノ住ム可キ家ヤ役所ヤ又ハ学校病院神  
社寺廟諸統覽所ノ如キモノヲ毀テ損ジタルモノ各々罪アルナリサレモ其ノ  
家ヲ毀ツニハ一家ノ一隅ヲ僅カニ損ズルト大家ヲ全ク毀ツト大ニ情ヲ異ニスル  
モノナレバ禁錮ノ如キモノ一月ヨリ五年マデ甚ダシク其ノ期ヲ異ニシ罰金ノ如キ  
モノ二円ヨリ五十円マテ甚ダシク其ノ額ヲ異ニシタリ

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ欄干ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圃牧場ノ柵欄ヲ  
毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二円以上二十円以下ノ罰  
金ニ處ス

本条ハ前条ノ家屋其ノ他ノ建築物ニ屬スルモノニシテ人ノ住居家ノ門戶牆壁ナ  
ドヤ庭ノ植木燈籠架テ橋ナドヤ田畑ノ田イヤ馬牛羊ナドヲ牧スル場所ノ田ナド

ヲ損ジ毀ツモノハ前条ヨリ罪ハ輕ケレモ亦罪アリ

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三円以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

五穀ハ人ノ常食ニ供スルモノニシテ竹木ハ人ノ家屋ヲ建築スルニ供スルモノナリ又其ノ外菓實野菜ノ類モ人ノ日常ノ需要ニ供スルモノナレバ之レ等ノ大切ナルモノヲ毀損スル如キハ其ノ毀損ノ如何ニヨリテハ前条ヨリモ其ノ害多キモノトス因テ其ノ罪モ一層ノ長期トナシ罰金モ亦多寡共ニ大ナリトス

第四百二十條 土地ノ境界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

國ノ界目郡ノ界目村ノ界目田畑邸地等ノ界目ナドニ標シアル杭ヤ其ノ柵ノ物ヲ毀損スルハ又ハ柵ノ移スルハ大ニ其ノ境界ヲ紛擾セシムルノ憂ヒ少ナカラザレハ之レヲ犯スモノハ前二条ヨリ其罪大ナリ

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三円以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

人ノ動産ヲ故意ト毀棄テタルモノハ所有主ノ用子欠ギ損害ヲ醸セシムルモノニシテ其ノ罪前条ヨリハ輕キナリ

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

人ノ畜スル牛馬ヲ殺スルハ前条ヨリ重キ刑ニ處セラレモノハ牛馬ハ社會ニ欠カ可カラザルモノニシテ器品等ノ比ニ非ザレバナリ

第四百二十三條 前条ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二円以上二十円以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

牛馬ノ外ノ家畜ト云フハ羊豚雞犬鴛ノ類ニシテ之レ等ハ食用ニ供スルモノナレモ社會ニ欠カ可カラザル用ヲナス彼ノ牛馬ノ類ニ非ズ因テ其罪輕キ也且ツ之レ等ノ者ハ之レ等所有主即チ飼主ヨリ告訴セザレバ官其ノ罪ヲ論ゼズ

第四百二十四條 人ノ權利義務關スル証書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

動産不動産ノ賣買并ニ約定証書ヤ金穀土地家屋ノ借用証書并ニ約定証書ヤ委任

狀ヤ受員証文ヤ受取書ヤ預リ諸証文ノ如キハ最モ人ノ權義上ニ關係アルモノニ  
テ甚タ大切ナルモノナリ之レ等ヲ毀テ棄ルカ捨テ形ノ跡ヲモナクスルニ至ル  
トハ年千人ノ權義ニ關シ言フ可カラザル損害ヲ起スモノナルユヘ其ノ罪輕シト  
セザルナリ

大日本刑法註釋大成第三篇終

參看

第四篇 違警罪

違警罪ハ諸犯罪中ノ最モ輕キモノニシテ只ガ一日以上十日以下ノ拘留ト五錢以  
上一円九十五錢以下ノ罰金トニ止ルモノナリ第四百二十五條ヨリ第四百二十九  
條マデノ各項ニ於テハ日本全國一般普通ノ違警罪ヲ示シ第四百三十條ハ各府縣  
ニ於テ土地人情ニヨリ應用スベキ違警罪ヲ各地方各別ニ設クル丁ヲ示シタルモ  
ノナリ全体違警罪ハ社會人民ノ至テ犯シ易キモノナレバ能ク注意スベキモノト  
コソ云フベシ

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓  
以上一圓九十五錢以下ノ罰金ニ處ス

左ノ諸項中第一項ヨリ第五項ニ至ルマデハ火ノ用心ノミヲ警メ第六項ハ往來人  
ヲ傷ツクルヲ警メ第七項ハ殘忍ノ所行ヲ警メ第八項ハ私ヲ思フテ公ヲ顧ミザル  
モノヲ警メ第九項ハ人命ヲ危殆ニ至ラシムルヲ警メ第十項ハ風俗ヲ惡クスル丁  
ヲ警メ第十一項ハ人ヲ恐怖セシメタルモノヲ警メ第十二項ハ懶惰人ヲ警メ第十三  
項ハ健康ヲ害スルモノヲ警メ第十四項ハ法律ノ正明ヲ曲ゲテ罪人ヲ庇フタルモ

ノヲ警ム各項下ニ就テ明細ヲ知ルベシ之レ等ノ罪ハ違警罪中ノ重モノナリ  
一規則ヲ遵守セズシテ火藥其他破裂スベキ物品ヲ市街ニ運搬シタル者

火藥運送規則ハ明治辛未歲十月ニ布達セラレタルモノニシテ全体破裂スベキ物  
品ハ人家稠密ノ土地ニテハ格別ニ注意セズンバ不測ノ災害ヲ來タスニ至ルベシ  
依テ規則ヲ守ラズシテ火藥其ノ外破裂スベキ物品ヲ市街ニ運ブモノハ其ノ罪ア  
ル論ヲ俟タズ

二規則ヲ遵守セズシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏  
シタル者

火藥圍線規則ハ明治九年九月十八日ニ布告セラレタルモノニシテ斯クノ如キ火  
ヲ發スル危害物ハ貯藏スルニモ能ク規則ヲ踏マズンバ終ニ火災ヲ起スニ至ルベ  
シ此ノ規則ヲ守ラズシテ危害物火ヲ發スルモノヲ貯藏スル其ノ罪アリ

三官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

戊辰六月ニ砲声ノ如キ響キアル花火ヲ禁ゼラレ庚午六月邸宅中ニテ花火ヲ禁ゼ  
ラレタル如キ程ノ車ニテ花火ハ一ノ玩弄物ナレトノ危害ヲ醸スル尠ナカラ

ザレバ官ノ許可ヲ受ケズシテ決シテ花火ヲ製造シ又ハ賣捌クハナラヌナリ  
四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟花其他火器ヲ玩ヒタル者

前条ノ如ク花火ノ制限ヲ大切ニセラレタルモノナルユヘ其ノ花火ヲ揚グル亦タ  
注意セズンバアラス人家ノ稠密セシ所ニテハ之レ等ヲ玩ブハナラヌナリ之レ  
ヲ犯シタルモノ罪アリ

五蒸氣器械其他煙筒火籠ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背シタル者

蒸氣器械破推ズルノ恐レアリ烟出シ火釜ナドハ出火ノ恐レアルモノナレバ其ノ  
新ニ製造建築シ又ハ修覆ヲ加ヘ掃除ヲナス等ニハ夫々ノ規則アルモノナリ其ノ  
規則ヲ守ラズシテ斯クノ如キヲナス必ズ罪アルナリ

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サ、ル者

家ヤ壁ヤ牆ナドガ崩レタリ又ハ毀チタリスル片ハ大ニ往來人ノ害ヲ致スモノナ  
レバ斯クノ如キ丁アル片ハ必ズ警察署ヨリ修覆スベキ旨ヲ催促セララルモノナ  
リ此ノ催促ヲ受ケテ修覆セザルモノハ罪アリ

七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者



明治十  
四年十  
二月六  
日官署  
第十四  
号布告  
ニカ  
ル  
萬貫海  
儀ハ刑法  
第四百二  
十五條第  
一項ニ明  
文有之候  
ハトモ當  
分ノ内其

取締懲罰  
従前之趣  
東京ノ警  
視廳ニ其  
他ハ地方  
官ニ委任  
ス右奉勅  
旨布告候  
車

訂条第二  
百十九條  
ハ註釈ニ  
明カナレ  
ハ署シ又

醫術ニ於テハ屍ヲ解剖スルハ止ムヲ得ザルモノナレトモ之レヲ解剖スルニハ必ず  
官ノ許可ヲ受ケズンバアラズ官ノ許可ヲ受ケズシテ解剖スル罪アルナリ

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者  
人命ハ大切ナルモノナレバ死様ノ分明ナラザル屍アレバ尚ホ更ラ之レニ注意セ  
ズンバアラズ然ルヲ已レノ持チ地内ニ屍アルニ之レヲ警察署ヘ申出デズシテ捨  
テ置キ又ハ已レノ持チ地内ニアルヲ思ヒテ他ノ地内ニ移ス如キハ罪アルナリ

九人ヲ殴打シテ創傷疾病ニ至ラサル者  
人ヲ殴打シテ疾病ニ至ラシメタルモノハ第三百一条ニ明文アレトモ人ヲ殴打シテ  
創モ付カズ病者ニモ至ラザルモノハ此ノ違警罪ニテ處分スルナリ

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者  
婦女ガ淫ヲ賣ル如キハ甚クシク社會ノ風儀ヲ紊スモノニシテアル可カラザルモ  
ノナリ故ニ斯クノ如キ賤業ヲナスモノニハ娼妓ノ鑑札ヲ與フ之ノ鑑札ヲ受ケズ  
シテ淫ヲ賣リ又ハ淫ヲ賣ル可キ仲介ヲナシ又ハ其ノ宿ヲナシタルモノハ罪アルナリ

十一人ノ住居セサル家屋内ニ潛伏シタル者  
故ナクンバ潛伏スルノ詎ケアラザルナリ然カモ人ノ住居セザル家屋ニ潛伏スル  
カラハ必ず故アルニ似タリ之レヲ故ナキトスルモ大人ニ恐怖ノ念ヲ生ゼサス  
モノナレバ罪アリトス

十二定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者  
懶惰人ニアラザルヨリハ已レノ住ムベキ家ナキト云フコトアル可カラズ故ニ定リ  
タル宿所モナク常ニ我が糊口ヲ過ゴス可キ業務モナクシテ諸所ヲぶらぐスル  
モノハ人間ノ務メヲ惰リタルモノナルユヘ罪アリトス

十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者  
屍カ腐敗スルハ人身ノ健康ヲ害スル容易ノモノニ非ズ因テ別ニ之レヲ埋葬ス  
ル墓地ヲ官ノ許可ヲ得テ常ニ設ケアルナリコノ埋葬地ヘセズシテ官許外ノ地ヘ  
埋葬スル罪アルハ勿論ナリ

十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者但被告人偽証ノ爲メ刑ヲ免カレタ  
ル時ハ第二百十九條ノ例ニ從フ

違警罪ノ犯人ヲ曲庇フタメ偽証ヲナシタルモノハ即チ違警罪ニ處分スベケレ

凡夫レガタメ若シ被告人ガ刑ヲ免カル、如キニ至ル片ハ其ノ罪重シ依テ第二百  
 十九条ニ云フ如ク刑ヲ免ガル、ニ至ラシメタルモノハ其ノ罪一等ヲ加ヘ三日以  
 上十二日以下ノ拘留又ハ一円二十五錢以上二円四十錢以下ノ科料ニ處セラルナリ  
**第四百二十六條** 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十  
 錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

左ノ諸項中第一項第二項ハ社會ノ害ニ至ルカモ料ラレザルコトヲ爲スモノヲ警  
 メ第三項第四項ハ人ノ健康ヲ害スルコトヲナスモノヲ警メ第三項ヨリ第八項マデ  
 ハ往來人ヲ害スルニ至ルコトアルヲ油断セシモノヲ警メ第九項ハ人命ヲ輕ンズル  
 ノ所爲アルモノヲ警メ第十項第十一項ハ風俗ヲ紊シ尊嚴ノ道ヲ失スルヲ警メ第  
 十二項ハ不穩ヲ醸シテ人ノ榮譽ヲ害スルモノヲ警ム各項下ニ就テ其ノ明細ヲ示シ  
 一人家ノ**近傍**又ハ山林田野ニ於テ溢リニ火ヲ焚ク者  
 失火ハ必ズ思ワザルコトヨリスルナリ全体人家ノ傍ヲ山林ヤ田畑ナドニテ火ヲ  
 焚ク片ハ之レヨリ火災ヲ起スコ稀レナリトスベカラス因テ之レ等ノコトヲナスモ  
 ノハ罪アリ

**二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者**  
 水害火災ナドノ時ニ其ノ害ヲ防グハ其ノ畔ニアルモノ、免ガル可カラサルモノ  
 ニシテ人ノ大害ヲ受クルヲ傍觀スルベキモノニハ非ザルナリ然ルヲ官吏ヨリ防  
 禦スベキ旨ヲ指圖セラル、モ肯ンゼス却テ之レヲ傍觀スル如キハ罪アル勿論ナリ

**三不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者**  
 菓物ノ未熟ヤ其ノ外飲食スル物ノ腐敗シタルモノヲ食スルハ人ノ健康上大ニ害  
 アルモノナリ故ニ之レ等ノ不良物ヲ賣捌クモノハ罪アリ

**四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル者**  
 人ハ健康ヲ保タズンハ命ヲ全フスルコト能ハス傳染病ヲ豫防セズンバ撲滅スルコ  
 能ハズ之レガタメ設ケタル規則ヲ守ラズシテ却テ犯ストキハ夫レガタメ他ヲ害ス  
 ル事ナカラス故ニ罪アリ

**五人ノ通行ス可キ場所ニアル危險ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ爲サ、ル者**  
 往來筋ハ人ノ通行ニ妨ナキ如クナスハ勿論ノコナルニ之レニ頓着セズシテ路中  
 ニ通行人ニ危キ井戸ヤ溝ナドアリ又ハ凹キ所ナドアルニ之レニ蓋モセズ又ハ圍

モセズシテ人ヲ危殆ニ至ラシムル如キヲナス素ヨリ罪アリ

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嚇シ又ハ驚逸セシメタル者

獸類ハ素ヨリ物ノ道理ヲ弁セ又モノナレバ之レ等ヲ驚カサシメ又ハ嚇カケナドスルトキハ必ズ荒レテ逸走スベシ斯クスルトキハ大ニ往來人ノ妨害ヲナスユヘ亦タ罪アリ

七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者

精神惑乱セシモノハ人ノ妨ケヲナスモ弁ゼサルモノナリ發狂人ノ如キハ之レヲ能ク守ラズンバ人ノ妨ケヲナス之レヲ守ルベキ人ナリテ爲メニ發狂人ニ路中ヲ徘徊スルトニ至ラスルトキハ素ヨリ罪アリ

八狂犬猛獸等ノ繋鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者

狂犬ヤ猛キ獸ナドハ大ニ人ヲ害ス因テ之レヲ畜スルモノハ鎖ヲ嚴ニシテ放レザル如クナスベキニ之レヲ怠リテ之レ等ノ獸類カ路中ニ放レル片ハ怠慢ノ罪アリ九變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者

變死人ト云ハ自殺力又ハ謀殺力故殺力ノ類ナルベシカハ死人ハ警察官ノ檢

視スベキモノナルヲ之レヲ爲サシメズシテ其ノ手數ヲ厭ヒ埋葬スルトニ至ル罪アルハ勿論ナリ

十墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

墓碑神佛ハ人ノ尊ムベキモノニシテ又タ清潔ヲ要スベキモノナリ然ルチ人ノ墓碑ヤ路傍ノ神ヤ佛ナドヲ打チ毀チ又ハ之レ等ヲ汚シ穢ス即チ罪アリ

十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

神社ヤ佛寺ヤ学校病院教育所集會スル所ナドヘハ清潔ヲ要スベキモノナルニ之レニ樂書ヲナシ張札ナドヲナス罪アルナリ

十二公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

人ノ目ノ前ニテ人ヲ罵リ嘲リナドナスハ人ノ榮譽ヲ害スルモノニシテ甚ダ宜シカ又モノナリ然ルチ公然ト罵リ嘲リナドスル片ハ罪アレ其ノ罵ラレ嘲ラレタルモノガ官ニ訴ヘ出デヌ片ハ其ノ罪ヲ問ハザルナリ

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十

錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

左ノ諸項中第一項ヨリ第八項ニ至ル迄ハ通行人ノ安全ヲ妨クルモノヲ警メ第九項第十項ハ人命ヲ危クスルモノヲ警メ第十一项第十二項ハ人心ヲ惑ハスモノヲ警メ第十三項第十四項ハ人馬ナドノ往來ヲ妨クルモノヲ警メ第十五項第十六項ハ往來人ノ迷惑ヲ生ゼサスモノヲ警ム各項下ニ就テ其明細ヲ知ルベシ

一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

車ヤ馬ナドヲ無暗ニ飛バシ走ラス片ハ往來人ノ妨ゲヲナスハ素ヨリナレバ斯クノ如クシテ往來ヲ妨クルニ至ル片ハ其ノ罪アリ

二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者

人ノ群集シタル所ヲ車又ハ馬ヲ牽キ通ル片ハ大ニ群集人ノ迷惑ヲ來タス可ケレバ斯クノ如キ場所ハ車馬ヲ牽キ通ラレヌト云フ一モ聞キ入レズ通行スルモノハ罪アリ

三 夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者

夜中ニ燈ヲ持タズシテ車馬ナドヲ走ラス片ハ乍チ人ニ傷クル如キ一アルニ至ル可ケレバ夜ハ必ズ車馬ヲ走ラスニハ燈ヲ要スル一トス之レヲ持タザルモ亦

夕罪アリ

四 水石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者

路上ハ往來人ノ通行ヲ便ニシ往來人ヲ安全ニ通行ナサシムルタメノモノナレバ之レヲ妨グル一ハアル可カラザルナリ然ルチ水石ナドヲ道中ニ積ミ上ケテ此ノ圍ヒモナサズ此ノ標ノ燈モ点セヌ片ハ大ニ通行人ノ自由ヲ妨クル訳ケナルユヘ罪アリ

五 瓦礫ヲ道路家屋圍圍ニ投擲シタル者

何ニヨラス物ヲ投クル片ハ或ハ物ヲ損ジ人ヲ傷クルノ恐レナシトセズ然ルチ瓦ヤ小石ナドヲ道中へ投ゲ家ノ内へ投ゲ庭内へ投ケル如キ素ヨリ罪アリ

六 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

鳥獸ナドノ屍ヲ路上ニ棄ル片ハ一ハ通行ノ妨ゲトナリ一ハ健康ヲ害スルニ至ル宜シク地中ニ埋メ又ハ田畑ノ肥料トナスベキナリ之レヲナサズシテ道路ニ棄テ置ク一アル罪アルハ勿論ナリ

七 汚穢物ヲ道路家屋圍圍ニ投擲シタル者

汚穢物ハ人ノ忌ムモノニシテ甚ダシク健康ヲ害スルナリ去ルヲ糞尿死屍腐敗物  
ナドヲ路ノ上ヤ家ヤ庭先ナドヘ投ケルモノ罪アルナリ

八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者

火焚所ノ建方ヤ蒸氣罐アル諸工作所ヤニハ必ズ警察ノ規則アルモノナリ尚ホ八  
品商取締規則モ此ノ部内ナリトス此ノ規則アルニ之レヲ守ラズシテ工業商估ヲ  
ナスモノ則チ罪アリ

九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者

疾病ヲ治スルハ醫師ニシテ懷胎ノ婦ヲ扱フハ穩婆ナリ夫レガタメ至急ノ病人ア  
ラハ醫師穩婆トモ招キニ應ジテ治療スルハ勿論ナルヲ危病人ノ招キアルニ別ニ  
事故モナクシテ此ノ招キニ應ゼザル罪アリ

十死人ノ申告ヲ爲サシテ埋葬シタル者

人死スレバ之レヲ區役所又ハ戸長役場ヘ届出テズンバアラス之レヲ届出テスシ  
テ密カニ埋葬スル罪アリ

十一流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者

前後左右モナキ無実ノ事ヲ世ニ流スハ人ヲ惑ハスノ甚ダシキモノニシテ大ニ害  
アリ夫レヲ世ニ流シテ人ヲ惑ハスニ至ル即チ罪アリ

十二妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

之レ亦タ人ヲ惑ハシテ已レヲ利スルモノト云フベシ人想見ト筮劍相判断神佛ノ  
夢想ヲ唱ヘ人ノ吉凶禍福ヲ豫知スルト云ツテ加持祈禱ヲナシ守札ヲ與フル等ノ  
事アル大ニ人智ヲ損スルモノナレバ罪アルナリ

十三私有地外ヘ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者

家屋ヲ建築シ牆壁ヲナシ又ハ軒ヲ出シ楹ヲ延アル等ハ已レノ持チ地ニ於テス可  
キハ論ヲ俟タザルモノナルニ之レヲ濫リニ他人ノ持チ地ニ於テナス即チ罪アリ

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者

道路河岸ナドハ皆ナ官有地ナリ之レ等ヘ床店ヲ開カント大ラバ官ノ許可ヲ受ケ  
タル後チナルベキニ官ノ許可ヲ得スシテ開クハ罪アリ而シテ床店ハ取拂ハザル  
ヲ得ズ

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ劇場等ヲ毀損シタル者

路上ノ植木ハ甚分往來人ノ日陰ケタラシメ又夕風伯ヲ防クニ足ルモノニシテ市街ノ常燈ハ夜中通行人ノ便利ニ供シ團場ハ往來ノ大小便ニ供フルモノニテ皆ナ之レ路上市街ニ要用ノモノタリ然ルチ之レヲ毀チ損ズル如キ惡戯チナス素ヨリ罪アリ而ノ其ノ賠償チナサシム

**十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者**

道普請橋普請等ニテ往來ヲ阻メントナレバ必ズ通行禁止ノ札ヲ建テズンバアテ又夕道筋ノ分リ難キ處ニハ指道ノ標ヲ建テズンバアラス之レ等件要ノモノヲ毀チ棄テタリ又ハ汚シ損ジタリスル又夕罪アリ

**第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又八十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス**

左ノ諸項中第一項ハ不相當ノ價ニ品物ヲ賣リタルモノヲ警メ第二項ハ通行人ニ損害ヲ及タルモノヲ警メ第三項ハ通行人ガ損害チカケタルヲ警メ第四項第五項ハ世ノ風俗ヲ惡クスルヲ警メ第六項ハ往來人ヲ傷ツクル憂ヒト健康ヲ害スル所爲トヲ警メ第七項ハ往來人ヲ妨グルヲ警メ第八項ハ官ニ損害チカケルヲ警メ第

九項ハ人ノ身体ヲ故意ト變色スルヲ警メ第十項ハ人ヲ傷害スルノ恐レアルヲ警メ第十一項ハ人ニ損害チナサシメタルヲ警ム各項下ニ就テ其ノ明細ヲ知ルベシ

**一官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者**

タトヘバ郵便切手証券印紙証券界紙訴訟用封紙郵便はらき等ノ如キ官ヨリ一定ノ價ヲ附セラレタルモノヲ其ノ定リタル價ヨリ高ク賣ルハ甚カ不都合ナリ因テ罪アリ

**二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケル者**

渡船賃橋錢又ハ路普請ノタメ通行人ヨリ取立ル錢ナドハ定リタルモノナレバ其ノ定リヨリ以上ヲ通行人ヨリ取立ルコトハナラズ又夕何ノ故モナクシテ往來人ノ通行ヲ妨グル如キコトアレバ罪アリ

**三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者**

前項ノ如ク通行スルニ錢ヲ拂フ可キ場所ヲ往來スル人ハ必ズ其ノ定リタル錢ヲ拂ハズンバアラス之レヲ拂ハズシテ通行スル罪アルナリ

**四路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者**

博奕ハ嚴禁ニテ既ニ第二百六十條第二條ニ其ノ罪ヲ論ジタルガ今此ノ項ハ真ノ博奕ニ非ズシテ類似ノモノナリ即チ勝負ニヨリテ一方ガ損失ヲナスノ如キヲ爲スモノ即チ罪アリ

五官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ闕キ及ヒ其規則ニ違背シタル者

劇場其ノ外諸興行ハ頗ル紛雜スルモノニシテ爲メニ世ノ風儀ヲ紊ルモノ尠ナカラズ因テ官ニ之レヲ出願シ許可ヲ得ズンバ興行スベカラザルモノトズタトヘ許可ヲ受クルトモ官ノ規則ヲ踏マズンバアラズ官ノ許可ヲ得ズシテ闕キ又ハ規則ニ背キタル所行アルモノハ各罪アルナリ

六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル者

溝渠掘リ下水ナドハ皆ナ惡水ヲ通ズルタメニ設ケタルモノニシテ衛生ノ一方衛ナリ之レヲ毀チテ惡水ノ通ヒヲ支ヘ之レヲ浚ヘズシテ惡水ノ流レヲ止ムル等即チ罪アリ

七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列スル者

道路ハ人ノ通行スル所ナレバ通行人妨ゲチナス可カラズ路傍ニ出ス露店ノ如キ

通行ノ邪魔ニナラザルヨリハ差闕ヘザル可ケレモ往來人ヲ妨グルノ憂ヒアルモノハ警察官ヨリ差止メルコトアリ此ノ差止ヲ肯ゼスシテ矢張り露店ヲ出シ居ル如キ罪アリ

八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者

官ヨリ設ケラレタル牧場ヤ其ノ外官有ノ地ヘハ人民ガ勝手ニ牛馬豚羊ナドヲ放チ又ハ牧スベカラザルモノナルヲ勝手ニ放チ勝手ニ牧スル共ニ罪アリ

九身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者

明治五年十一月ニ身体ヘ刺續スルコトヲ禁ズルノ令ヲ布カレタリ故ニ其ノ後チハ素ヨリ入レ墨ヲ爲ス可カラザルモノナルニ之レヲ破リテ入レ墨ヲナシ之レヲ職業トスルモノアリテハ風俗ヲ紊リ野蠻ノ醜風ヲ免レザルコト各罪アリトス

十他人ノ繫ギタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十一他人ノ繫ギタル舟筏ヲ解放シタル者

其ノ所爲戲レニナルト故意ニ出ルトノ別ナク人ノ繫ギタル牛馬其ノ外ノ畜生ヤ舟筏ナドヲ解キ放スハ必ズ其ノ獸類舟筏ナドヲ失フノ恐レアリ之レヲ爲スモ

ノ罪アルナリ

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス

左ノ諸項中第一項ヨリ第八項マデハ水陸ノ通路ヲ妨クルモノヲ警メ第九項第十

項ハ其ノ所爲アルヨリ他ニ害ヲ及ボスコヲ警メ第十一項第十二項ハ風儀ヲ紊ス

ノ萌シアルモノヲ警メ第十三項ハ往來人ニ過チアラシムル恐レアルモノヲ警メ

第十四項ハ他人ノ家ヲ汚スヲ警メ第十五項ハ社會ノ不便利ト社會ノ損害ヲ生ズ

ルトヲ警メ第十六項ハ盜犯ヲ萌シアルモノヲ警メ第十七項ハ社會ノ遊樂ヲ妨

クルヲ警メ第十八項ハ植ヘ付ケタル物ヲ荒スヲ警ム各項下ニ就テ明細ヲ知ルベ

シ之レ等ノ罪ハ違警罪中ノ至テ輕キモノナリ

一橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ル可キ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

橋ハ以テ一般人民ノ通行ヲ便ズルモノニテ堤防ハ以テ水利ヲ便ニシ水害ヲ避ケ

ルタメナリ均シク之レ缺ク可カラサルモノナレバ之レ等ノ妨ケトナル所ニハ舟

筏ヲ繫ク可カラザルナリ之レヲ繫ク罪アリ

二牛馬諸車其他物品ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ爲シ

タル者

屢々言フ如ク道路ヲ通行スルモノヲ妨ク可カラザルハ勿論ナルニ牛馬諸車其ノ

外何ニヨラズ道中ニ横タヘ又ハ木石薪炭ナドヲ積ミ上ゲ往來人ノ通行ヲ妨クル

如キコトヲ爲スモノハ罪アルナリ

三車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

之レ亦タ往來人ノ通行ヲ妨クルモノニシテ車馬ナドヲ道中ヲ並ベテ牽ク片ハ

必ズ往來人ヲ妨ケベシ因テ罪アリ

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通航ノ妨害ヲ爲シタル者

前二項ハ道路ヲ往來スル人ヲ妨ゲタルモノナルガ之レト其ノ趣一ニシテ本項ハ

只タ水路ニテ舟ヲ並ベ外ノ船ノ通航ヲ妨ゲタルモノニテ罪アルナリ

五水雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

道路ハ清潔ニシテ且ツ行人ノ安全ニ往來スルヲ要トスソレニ水雪塵芥ナドヲ投

ケ棄テ行人ヲ危フカラシメ又ハ行人ノ往來ヲ妨ゲ又ハ路上ヲ不潔ニナス如キハ

罪アリ



六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲サル者

道路ハ清潔ヲ要スルモノナレバ若シモ不潔トナル片ハ官ヨリ掃除スベク督促セラルナリ督促セラルモ尚ホ掃除セザル如キハ即チ罪アリ

七制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

路上ニテ遊戯ヲナスハ差問ヘザレ往來ノ妨ゲトナルト認ムル片ハ警察官ニテ之レヲ止ムルナリ止ムルヲモ聞カズシテ尚ホ遊戯ヲナス罪アリトス

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫クコトヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

牛馬ヲ牽テ道路ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ道路ニ繫クニハ能ク往來人ノ通行ヲ妨ゲ又ヨウ注意スベキ其ノ注意ヲ怠リテ往來人ヲ妨グルニ至ル罪アルナリ

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

官ヨリ出入スルコトハ相成ラヌト留メアル家屋ヤ又ハ其ノ外ノ場所ナドヘニ入スル如キ亦タ罪アリ

十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者

官ヨリ往來人ノ通行ヲ止メルダメ禁制ノ札ヲ掲ゲテ示スニモ頓着セズ之レヲ通

行スル素ヨリ罪アリ

十一道路ニ於テ放歌高声ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者

人ノ靜肅ヲ害シ世ノ風俗ヲ紊ルコトハ宜シク爲ス可カラザルナリ於是乎歌ヲ誦ヒ高声ヲナスコトアレバ警察官之レニ注意シテ制止セズンバアラズ然ルヲ制止ヲ聞カズシテ尚ホ歌ヲ誦ヒ高声ヲ發スモノ罪アリトス

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者

酒ニ酔ヒテ大ニ路上ニ騒ギ立テ又ハ大醉ニ至リテ路上ニ倒レ臥スニ至ル如キハ甚々世ノ風儀ヲ害フモノナルユヘ罪アリトス

十三路上ノ常燈ヲ消シタル者

常燈ハ往來人ノ安全ヲ保タシメ又ハ盜犯ニ難ナカラシムル等ノ爲メニ設ケタルモノナルヲ故ラニ之レヲ消ス罪ナクンバアラズ

十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

人トシテ已レノ牆壁ナドノ美觀ヲ好マヌモノハナキ筈ナリ然ルチ人ノ牆壁ニ濫リニ張紙ヲナシ又ハ戯レニ樂書スル片ハ大ニ美觀ヲ失フモノタレバ罪アリトス

十五 邸宅ノ番号標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

土地ノ名邸ノ番号姓名等ヲ邸宅ニ掲ゲ看板ヲ垂ル、如キハ一般人民ノ知り易キヲ主トセシモノニテ貸家賣家ノ貼紙其ノ外報告ノ掛ケ札ナドモ一般人民ノ見易キヲ主トセシモノナリ之レヲ除ク片ハ大ニ訪問ノ便ヲ失ハシム因テ斯クノ如キヲチナスモノハ罪アリ

十六 他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者

田畑ニ植付ケアル野菜モノ菓物ヤ庭ノ内ニ培養シアル花ナドヲ濫リニ取テ食フタリ折リタリスル片ハ所有主ノ迷惑少ナカラザルモノナルユヘ其ノ罪アルナリ若シ野菜ナリ菓物ナリヲ取テ持チ帰ルニ至ル片ハ窃盜タルヲ免レズシテ其ノ本条ニ當テラルナリ

十七 公園ノ規則ヲ犯シタル者

公園ノ規則ハ必ズ其ノ公園ニ揭示スルモノナリ之レヲ守ラズシテ樹木ヲ折リ魚鳥ヲ執ル如キコトアラバ其ノ罪アルナリ

十八 通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

人ノ通ルベキ路モナキ他人ノ田畑ナドニテ五穀野菜ナド植付ケアルモノヲ通行シ又ハ牛馬ナドヲ牽キ入ル、片ハ大ニ田畑ヲ荒スベシ因テ罪アリ

第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ從テ處斷ス

同ジク之日本國ニシテ日本人ナルモ土地ニヨリ風俗人情ヲ異ニスルハ世界各国ノ常ニテ國內ヲ同一視シテ事ヲ行フベカラザルモノアルナリ強テ之レヲ一様ニナサントスル寛苛度ヲ過ルヲ免ガレス故ニ此ノ違警罪ノ如キモ全國通ノ行フベキモノト土地人情ニヨリ異ニスルモノト別チナサズンバ能ハザルコトハナリシナルベシ本篇ハ全國普通ノモノニシテ苟モ大日本國ニ生レタルモノハ一日モ守ラズンバアル可カラザルモノナルガ本条ニ載セラル者ハ本篇ノ諸項外ニ各府縣ノ適宜ニ設クルヲ得ルコト云フコト示シタルモノナリ宜シク各府縣ノ下ニアルモノハ其ノ府縣ノ違警罪ヲ此ノ本篇ト合シテ遵奉セララルベシ

大日本刑法註釋大成卷下 大尾

大日本刑法注釋大成附錄

西備 戸田十畝 編

○刑法附則

第一章 主刑執行

刑法第十二條ヨリ第三十條ニ至ルマデノ主刑處分ニ付キ其ノ執行行ヒ方ヲ詳明ニセシモノニシテ刑法第十二條ニ云ヘル所ノ方法細目中ノ一ナリ

第一條 死刑ハ其執行ヲ爲ス裁判所ノ檢察官書記及ヒ典獄刑場ニ立會典獄ヨリ囚人ニ死刑ヲ執行ス可キヲ告示シタル後押丁ヲシテ此ヲ決行セシム但其期限ハ午前十時前ス

是レ即チ刑法第十二條ノ執行ヲ論ズル所ノモノニシテ檢察官書記及典獄等ガ刑場ニ立會ヒタル上ニ典獄ハ囚人ニ對シ刑ヲ行フベキ旨ヲ申聞ケルナリ裁判官渡ハ裁判所ニ於テ已ニ畢リタルヲ以テ只ク執行ノ時ヲ示スモノニシテ裁判官渡ニハ非ルナリ典獄之ヲ囚人ニ申聞ケ押丁ヲシテ之ヲ執行セシム

第二條 死刑ヲ行フ時ハ刑場ノ警戒ヲ嚴ニシ執行ニ關スル者ノ外刑場ニ入ルヲ許

サズ但立會官吏ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

即チ刑法第十二条ヲ詳明ニスルモノニシテ死刑ヲ行フニ際シ公衆ヲシテ目撃セシムルコトヲ禁止シタルハ勿論トハ他ノ官吏ト雖モ檢察官ノ許可ヲ受ケズシテ刑場ニ入ルコト能ハザルナリ故ニ渾テ刑場ハ嚴重ニ取締ヲナシ靜肅ニ刑ヲ執行スルトス

第三條 死刑ノ執行畢リタル時ハ書記其始末書ヲ作り立會ヲ爲シタル官吏ト共ニ署名捺印シ之ヲ裁判所ノ檢事局ニ納ム可シ

第四條 左ニ記載シタル日ハ死刑ヲ行フコトヲ禁ス

- 元始祭
- 孝明天皇祭
- 紀元節
- 春季皇靈祭
- 仁孝天皇祭
- 神武天皇祭

六月大祓

秋季皇靈祭

神宮神嘗祭

天長節

後桃園天皇祭

新嘗祭

光格天皇祭

十二月大祓

刑法第十四條ニ載スル所ノ大祀令節國祭ノ日ヲ明細ニ分チ掲ケタルモノナリ

第五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ト申スル者ハ醫師及七穩婆ヲシテ之ヲ檢査セシメ果シテ懷胎ナル時ハ檢察官ヨリ司法卿ニ上申シ其執行ヲ停メ産後一百日ヲ經テ更ニ司法卿ノ命令ヲ受テ執行スヘシ

刑法第十五条ヲ詳明セシモノナリ死刑ノ宣告ヲ受ケシ婦女若シ懷胎ナルモハ分娩後一百日ヲ經テ刑ヲ行フモノナリトモ其婦女ノ死刑ヲ延期セシコトヲ欲シ

欺キテ懐胎ナリト稱フルモノナキニシモアラザルヲ以テ醫師穩婆ヲシテ能クソノ實否ヲ檢査セシメタル後ニ非ザレバ容易ニ懐胎タルト知ル能ハザルナリ而シテ實ニ果シテ懐胎ノモノニシテ産後一百日ヲ經テ死刑ヲ決行スルヒタリモ更ニ司法卿ノ命令ヲ受ケタル後ニアラザレバ施行セザルナリ是レ官カ人命ヲ重ンズルノ仁心ヨリ出タルモノナラン

第六條 死刑ノ遺骸ハ一定ノ場所ニ埋ム若シ親屬故舊請フ者アル時ハ典獄之ヲ許可シ下付スルヲ得

刑法第十六条ヲ明細ニセシモノナリ

第七條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル者執行ニ至ルマテ何時ニテモ典獄ノ許可ヲ得テ其親屬故舊ニ接見スルヲ得

死ハ即チ幽明ノ分界ニシテ人死スレバ則チ明世ノ車隨テ忽チ消滅ス故ニ其ノ死刑ニ就クニヨリテ親屬故舊タルモノニ承ク訣ルノ名殘ヲナスハ人情ナリトス故ニ死刑ノ囚人ノ如キ其ノ罪ハ惡ム可ケレモ其人ハ惡マザルモノナルユヘ死刑ノ宣告ヲ受ケタル後ハ何時ニテモ官ノ許可ヲ得テ親屬故舊ノモノガ囚人ニ對

面シ名殘ヲナスヲ許サレタルナリ

第八條 死刑ヲ執行シタル時ハ犯人ノ屬籍氏名年齢職業住所及ヒ其罪狀刑名記載シテ左ノ各所ニ榜示公告スベシ

刑ヲ宣告シタル裁判所ノ門前

犯罪ノ地

犯人住居ノ地

第九條 徒流ノ囚ヲ發遣スルハ裁判ヲ爲シタル地ノ監獄管理長官ヨリ内務卿ニ上申シ其命令ヲ待テ發船ノ地ニ護送ス可シ

刑法第十七条第二十條ニ載スル如ク徒刑流刑ノ囚人ハ島地ニ發遣スルモノナリト雖モ豫シメ其發遣スベキ島地ヲ定メアルニ非ザレバ其宣告ノ都度内務卿ニ上申シ内務卿ノ指定ヲ待テソノ島地ニ囚人ヲ發遣ナサシムルナリ

第十條 徒刑ノ囚ハ島地ニ於テ便宜ニ從ヒ獄外ノ役ニ服セシムルヲ得

是ハ刑法第十七條ニ載スル所ノ如ク徒刑ノ囚人ハ島地ノ獄中ニテ定役ニ服セシムルノ法ナリト雖モ時宜ニヨリテハ獄外ニ出シテ以テ定役ニ服サシムルヲアル

ベシ

第十一條 流刑ノ囚幽閉中獄内ニ於テ自ラ工業ヲ爲サント請フ者ハ典獄之ヲ許ス可シ

流刑ノ囚人ハ刑法第二十條ニ載スル如ク島地ノ獄中ニ幽閉シテ定後ニ服セシメザル法ナリト雖凡囚人ヨリ工業ヲ爲ント冀望スルモノアラバ典獄之ヲ許ス可シ

第十二條 流刑ノ囚幽閉ヲ免ス可キ者アル時ハ典獄ヨリ内務司法兩卿ニ上申シ其許可ヲ受クベシ

是ハ刑法第二十一條ノ如ク流刑ノ囚人行狀方正ニシテ能ク謹慎ノ意ヲ表スルモノハ無期ハ五年有期ハ三年ノ後典獄ヨリ其ノ事實ヲ内務卿ト司法卿トニ俱上其許可ヲ受ケテ幽閉ヲ免シ島地ニ住居セシムルコトアルベシ

第十三條 徒刑ノ囚假出獄ヲ許サレタル者又ハ流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル者家屬ヲ招キ同居スルヲ請フ時ハ之ヲ許ス可キ得但其路費ハ自ラ之ヲ辨ズ可シ

第十四條 流刑ノ囚幽閉ヲ免シ地ヲ限り居住セシムル者ハ監獄近傍ノ地ヲ限り典獄ノ監督ヲ受ケシム若シ已ムコトヲ得ザル事故アル時ハ典獄ニ請フテ限外ニ出ルコトヲ得

流刑ノ囚人ハ幽閉ヲ免セザルハ島地ニ於テ地ヲ限り住居セシムルモノナリ然レモソノ刑ヲ免ジタルニ非ラズ只ダ幽閉ヲ免ジテ島地ニ住居セシムルマデノコトエハ典獄ハソノ囚人ヲ少シク自由ヲ得タルニモモヨリ監督スルタメ相成ルベキタケ監獄ニ近キ所ノ土地ニ住居ナサシムルナリ然レモ若シ囚人ガ土地ノ惡シキタメ身體ノ健康ヲ害スルコトカ病症ニヨリテ轉地セズンバナラヌトカ其外已ムコト得ザル事柄アルハ小獄司ノ許シテ得テソノ區域限外ニ住居スルコトヲ得ルナリ

第十五條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル者再ヒ罪ヲ犯シタル時ハ本刑期限内ト雖凡島地ニ於テ其刑ヲ執行ス可シ

第十六條 懲役重禁錮ノ囚ハ便宜ニ從ヒ獄外後ニ服セシムルコトヲ得内地ニアル懲役重禁錮ノ囚モ時ニヨリテハ獄外ニ出シテ定後ニ服セシムルコトアルベシ

第十七條 禁獄輕禁錮ノ囚獄内ニ於テ自ラ工業ヲ爲サント請フ者ハ典獄之ヲ許ス可

第十八條 服役限内更ニ罪ヲ犯シ再ビ定役ニ服スル者後犯ノ刑期百日内ハ工錢ヲ給與セズ

其刑法第二十五條ニ掲ケル如ク定役ニ服スル囚人ノ工業ヲ爲ス者ハソノ工錢ノ幾分ヲ賃金ノ費用トナシ其ノ何分ヲ囚人ニ給與スレニ百日内ハ之ヲ給與セズ  
百日ヲ過ギテ始メテ給與スルナレニ本條ニ云フ處ハ囚人定役中更ニ罪ヲ犯シテ再ビ定役ニ服スルモノハ新ナルモノト視做シ百日間ハ工錢ヲ給與セズ百日ヲ過ギテ更ニ給與スルトス

第十九條 囚人ニ給與スル工錢ノ額ヲ定メ之ヲ交付シ及ヒ領置スル方法ハ監獄ノ規則ニ從フ

第二十條 罰金科料ノ宣告ヲ受ケ未ダ納完セザル前ニ於テ犯人身死スル時ハ之ヲ徵收セズ附加ノ罰金ニ於ルモ亦同ジ

總テ刑ハソノ一身ニ已テ處置スルモノニシテ其家族親戚ニ及ボスモノニ非ルナリ故ニ罰金科料ハ金錢ニ屬スルモノニシテ自然其財產ニ及ボスベキガ如シト雖

凡犯人ニシテ身死スル氏ハ其罰金科料ナドナ上納ズミニナリテナキモ其ノ遺族ヨリ之ヲ徵收スルノ謂ハレナキナリ主刑ニシテサヘ夫レ然リ況ンヤ附加ノ刑ニ於ケル素ヨリ之レト異ナラザルナリ

第三章 監視

刑法第一篇第二章第三節ナル附加刑處分中監視ノ條頂テ明細ニ擧ゲタルモノニシテ即チ刑法第十一條ニ云ヘル方法細目中ノ一ナリ

第二十一條 監視ハ主刑ノ終リタル後仍ホ將來ヲ檢束スル爲メ警察官吏ヲシテ犯人ノ行狀ヲ監視レシムル者トス

刑法第三十七條ニ云ク重罪ニ處セラレタルモノハ別ニ宣告ヲ用ヒズ本刑ノ短期三分ノ一二等シキ時間監視ニ付スト而メ刑法第三十八條ニ云ク輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ各本條ニ就テ監視スルモノトセザルモノトアリテ一々之レヲ宣告スルナリ

抑モ刑期ノ滿チタルモノニ又タ監視ノ刑ヲ附加スルモノハ何ゾヤ必ズ犯人ヲシテ斯ノ如キ罪ヲ再ヒ犯スナク既性ヲ改メシノ將來ノ行狀ヲ戒ムルノ主旨ニ出

デタルモノナル可ケレバ罪ノ輕キモノト罪狀ノ如何トニヨリテハ監視ノ期モ短ク又ハ監視也スシテ可ナルモノアル可キナリ故ニ輕罪ノ刑ニ處セラレタルモノハ宣告スルニ非ザレバ監視存スルコトナキトス

第二十二條 監視ニ付ス可キ者ハ豫メ其住所ヲ定メシメ主刑ノ終リタル時典獄ヨリ犯人ヲ其住居ノ地ノ警察所ニ護送シ監視ヲ執行セシム主刑ノ期滿免除ヲ得タル者又ハ主刑ヲ免シ止テ監視ニ付スル者ハ其裁判所ノ檢察官ヨリ警察所ニ護送スヘシ

監視ヲ附加スベキモノハ主刑ノ滿期マデニ犯人ノ住居スベキ地ヲ定メシメ主刑滿チテ犯人ヲ其ノ定メタル住居ノ警察署ニ護送スルナリ是ニ於テカソノ地ノ警察官監視ヲ執行ス然ルニ刑法第三十條ノ如キ期滿免除ヲ得タル者又ハ主刑ヲ免ジテ止テ監視ノ三ニ附スルモノハ如キハ又タ典獄ノ手ヲ經サルモノナルヲ以テ檢察官ヨリ直チニ犯人ヲ其住居ノ警察所ニ送ルナリ

第二十三條 犯人ヲ警察所ニ護送スル時ハ其監視ノ起算滿期ヲ記載シタル文書及ヒ刑名宣告書ノ謄本ヲ附ス可シ  
刑法第四十條ノ如ク典獄又ハ檢察官ハソノ犯人ノ監視ノ起算ト滿期トヲ記載シ

タル文書ト宣告書ノ寫シトヲ犯人ニ添ヘテ犯人住居ノ警察所ニ送ルナリ

第二十四條 犯人ノ住居遠地ニ在テ一日程ヲ過クル者ハ典獄若クハ檢察官ヨリ先ツ最近ノ警察所ニ護送シ其警察所ヨリ住居ノ地ノ警察所ニ送致スヘシ

内地ノ監獄懲役場又ハ島地或ハ裁判所ヨリ犯人住居マデ一日ノ里程以上ナラバ右ノ場所ヨリ最モ近キ警察所ヘマデ護送シ而シテ其ノ警察所ヨリ住居ノ警察所ヘ送致スルナリ(次條ヲ参考スベシ然レモ一日以内ノ里程ナラバ第二十二條ノ如ク護送スルコトス)

第二十五條 警察所ヨリ犯人ヲ住居ノ地ノ警察所ニ送致スル時ハ其里程ヲ計リ日數ヲ限定シテ旅券ヲ付與シ犯人到着ノ日直チニ之ヲ其地ノ警察所ニ差出サシム但途中事故アリテ淹滞シタル時ハ第三十一條ノ例ニ從フ可シ

前條ニモ述ブル如ク一日程ノ所ナラバ典獄又ハ檢察官ヨリ犯人住居ノ警察所ヘ直チニ護送スベケレモ一日程以上ナラバ護送ヲナサズシテ最近ノ警察所マデ護送シ其ノ警察所ヨリハ住居マデノ里程ヲ算シテ日數ヲ定メタル書ヲ犯人ニ渡シテ住居ノ警察所ヘ着シタル日ニ差出サシメ典獄又ハ檢察官ヨリ別ニ護送セザル



ナリ然ルニ犯人旅行中<sup>旅行中</sup>天災<sup>天災</sup>又ハ疾病等ニテ已ニナク途中<sup>途中</sup>ニ淹滞<sup>淹滞</sup>スルコトアルハ其ノ地ノ警察所ニ申出デ警察署ノ証書ヲ受ケテソノ住地へ着シタル日直ニ旅券ト共ニ住地ノ警察所ニ差出スベキナリ

犯人ヲ送致スル時ハ第二十三條ニ記載シタル書類ヲ其地ノ警察所ニ送送スヘシ犯人ヲ護送スルハ第二十三條ノ如キ監視ノ起算<sup>起算</sup>満期ヲ記載シタル文書及ヒ刑名宣告書ノ騰本ヲ附送スルナレモ警察所ヨリ犯人ニ旅券ヲ與ヘテ送致スル時ハ是レ等ノ書類ハ警察所ヨリ犯人住地ノ警察所へ送送スルナリ

第二十六條 犯人住居ノ地ノ警察所ニ於テハ監視ノ期間間遵守ス可キ條件ヲ讀問力セ監視ノ票ヲ下付ス可シ

第二十七條 監視ニ付セラレタル者ハ其期限間左ノ條件ヲ遵守スヘシ  
一 毎月二度所轄ノ警察所ニ到リ其謹慎ナルコトヲ表シ監視ノ票ヲ出シ官吏ノ認印ヲ受ク可シ但疾病又ハ已ムコトヲ得サル事故アリテ警察所ニ到ルコト能ハサル時ハ其事由ヲ届出ス可シ

監視ニ付セラレタル間八月々ニ二度ツ、住地ノ警察署ニ至リ監視ノ札ヲ出シ

ノ札ニ警察官ノ認印ヲ受ケ能ク謹慎ノ意ヲ表スベシ若シ病氣其外已ムコト得ザルコトニテ警察署へ出頭スルコト能ハサルハ其旨ヲ書面ニ認メ届出ルコトス

二 酒宴遊興席ニ會シ又ハ群集ノ場所ニ參會スルコトヲ許サズ  
花見遊山舟遊ビナドハ勿論數人集會シテ酒宴ヲナスノ席ニ臨ミ青樓割烹店ニ登リ酒宴ヲナスコト能ハズ又タ神祭ヤ劇場其ノ外興行ノ席ナドヘモ到ルコト能ハズ是レ謹慎中ナルエヘナリ若シ之ヲ犯スハ罪アルナリ

三 事故アリテ其住居ヲ轉移セシトスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受ク可シ  
ワケアリテ住居ヲ移スルハ其監視スベキ警察所變ラザルヲ得ザルナリ故ニソノ住居ヲ移サントナラバ其事由ヲ警察所ニ届出デ許可ヲ受ケズンバ轉ズルコト能ハズ若シ之レヲ犯ストキハ其罪アリ

四 擅ニ他ノ地方ニ旅行スルコトヲ許サス若シ已ムコトヲ得サル事故アル時ハ其事由ヲ警察所ニ具申シ許可ヲ受ク可シ

是項モ亦タ前項ト同ジ事由ニシテ前項ハ住居ヲ轉ズルコトヲ云ヒ本項ハ旅行スルコトヲ掲ゲラレタリ

第二十八條 監視ノ期限間ハ警察官吏時宜ニ因リ其家宅ニ臨檢スルヲアルベシ  
是ハ真ニ謹慎セル乎又再犯ノ萌ナキカヲ探リ察スルタノ時ニヨリテハ犯人ノ  
宅ハ警察官ガ入リテ檢視セラルトアリ

第二十九條 警察所ニ於テ住居ヲ轉スルヲ許可シタル時ハ其事由ヲ轉住ノ地ノ警  
察所ニ通知シ第二十三條ニ記載シタル書類ヲ遞送ス可シ

犯人ヨリ住居ヲ移轉セシメテ警察所ニ届出テ警察所ニテ之ヲ許可シタル片ハ直  
チ轉住ノ事由ヲ轉地ノ警察所ニ通知シ檢視ノ起算満期ヲ記載シタル文書及ビ刑名  
宣告書ノ寫シヲモ同送スベキトス

第三十條 他ノ地方ニ旅行スルヲ許可シタル時ハ其里程ヲ計リ先方ノ地ニ滯留ス  
ル時日ヲ算シ往復日數ヲ限定シテ旅券ヲ付與ス可シ

犯人先方ノ地ニ到レバ其地ノ警察所ニ出テ旅券ヲ示シ官吏ノ認印ヲ受限定ノ日數  
内ニ歸來リ直チニ旅券ヲ警察所ニ還納スベシ

犯人住地ノ警察所ニテ犯人ノ旅行ヲ許可シタル片ハ其到ル可キ地ノ里程ヲ算シ  
テ往復ノ日數ト滯留ノ日數トヲ定メソノ旅券即チ旅行切手ヲ渡ス可シ而シテ旅

行ヲ願フ犯人ハ之ヲ受ケテ其ノ到ル可キ處ニ到リ其ノ地ノ警察所ニ出テ旅券  
ハ警察官ノ認印ヲ受ケ住地ノ警察所ヨリ指定ノ地ヲレタル日數ヲ過サズニ住地ニ  
歸リ直チニ警察所ヘソノ旅券ヲ返納スベシ

第三十一條 旅行中天災又ハ疾病等ニ因リ臨時滯留シタル時ハ事由ヲ其地ノ警察所  
ニ具申シ官吏ノ証書ヲ受ケ歸着ノ日旅券ニ添ヘ警察所ニ差出ス可シ

前條ノ如ク日限ヲ定メテ警察所ヨリ旅券ヲ受ケテ旅行中風雨等又ハ病氣ナドニ  
テ已ムコトナク臨時ニ滯留ハ旅行ノ日數ヲ多クスル譯ナレバ其ノ由ヲ書面ニ認メ  
滯留ノ地ノ警察所ニ届出テ其ノ警察所ノ証書ヲ受ケ歸着ノ期旅券ハ添ヘテ住地  
ノ警察所ヘ差出ス可トス

第三十二條 監視ニ付スル者住居ナク及ヒ引取人ナキ時ハ其期限間監獄中ノ別房ニ留  
置シ工業ヲ爲サシメ又ハ使役ニ供ス住居遠地ニ在リ歸着スル資力ナキ者亦同シ

刑期ヲ終リ又ハ期滿免除及ビ免罪等ノモノ監視ニ付セラルト雖モ自分ノ住居  
ス可キ住所モナク犯人ヲ引取ルベキ人モナキ時ハ其監視ノ期限間ハ監獄場ニ留

メ置キ其身ニ應ズベキ手仕事ヲナサシムルナリ夫レニ限ラズ犯人ノ住地遠方

ノ置キ其身ニ應ズベキ手仕事ヲナサシムルナリ夫レニ限ラズ犯人ノ住地遠方

ニテ歸宿スル旅費ナキモノモ亦タ同様ナリトス

第三十三條 監獄中ノ別房ニ留置シタル者限内引取人ヲ得又ハ住居ノ地ニ歸着スル資力ヲ得タル時ハ其地ニ送致シテ殘期ノ監視ヲ執行セシム可シ

住居ノ地ナク引取人モナク又ハ歸ル旅費モナキ者ハ前條ニヨリテ監獄場ニ留置クモノナレ其ノ留置キ中犯人ヲ引取ルベキ人が出来ルカ又ハ住居ノ地アリモノニシテ歸ル可キ旅費ヲ得タル時ハ監獄場ヲ出シテ住居ノ地ヘ送り歸スナリ然ル上ハ監獄場ニ在リシ日ヲ扣除シ殘リノ日數ヲ監視スルトス

第三十四條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯シ初犯再犯共ニ監視ニ付ス可キ時又ハ監視ノ期限間再ヒ罪ヲ犯シ更ニ監視ニ付ス可キ時ハ並ニ主刑満限ノ後前後ノ期限ヲ通算シテ監視ヲ執行スベシ

刑ノ期限中初犯ノ分モ再犯ノ分モ刑期ノ満チタル後チハ監視ニ付スベキモノナル時ハ主刑満期ノ後チ初犯ノ監視ト再犯ノ監視トヲ合算シテ監視ニ付スルトトス假令ハ初犯ノ監視六ヶ月ニシテ再犯ノ監視十ヶ月ナルハ十六ヶ月ノ監視ニ付スル如キハ其主刑ノ満期ニ至リ前ノ監視ノ殘リ日數ト後ノ監視ト合算シテ監視ニ付スルトス

視ニ付スルトス

第三十五條 罰金ヲ禁錮ニ換ヘタル者監視ニ付ス可キ時ハ其禁錮ノ日數ヲ監視ノ期限ニ算入ス可シ

刑法第二十七條ニアル如ク罰金ヲ納完スル丁能ハズ又ハ代納スルモノナクシテ禁錮ニ換フルモノガ監視ニ付セラル、其ハ其ノ罰金ニ換ヘタル日數ヲ監視ノ期限ヨリ引キ除キ殘リ日數ヲ監視ニ付スルナリ

第三十六條 監視ニ付セラレタル者其規則ヲ遵守シ檢査ノ狀アル時ハ警察官ヨリ其事實ヲ上申シ内務司法兩卿ノ命ヲ受ケテ假ニ監視ヲ免スルヲ得

刑法第四十一條ニ載スル如ク監視ニ付セラレタル者能ク監視ノ規則ヲ遵守シ大ニ悔悟シテ再犯ノ意ナキトヲ認メ知ル時ハ其ノ警察官ヨリ其ノ事由ヲ内務卿ト司法卿トニ上申シテ兩卿ノ命ヲ受ケ仮リニ監視ヲ免ズルヲ得ルナリ併シ假リニ監視ヲ免ルサル、其ハ左ノ一條〔第三十七條〕ヲ除クノ外渾テ其ノ身ノ自由ヲ得ルト雖モ假リニ監視ヲ免ジ中行狀不正ナルトアラバ再ヒ何時ニテモ監視ニ付セラル、ナリ

第三十七條 假ニ監視ヲ免セラレタル者住居ヲ轉移スル時ハ第二十七條第三及ヒ第二十九條ノ例ニ從フ可シ

假リニ監視ヲ免セララルトモ住居ヲ轉スルニハ必ず前ノ第二十七條ノ第三項及ヒ第二十九條ノ例ニ依リ必ズ現住地ノ警察所ニ申出デ許可ヲ受ケ又々現住地ノ警察所ヨリハ直チニ轉住地ノ警察所ニ掛合ヒ之レニ監視ノ起算滿期ヲ記載シタル文書及ヒ刑名宣告書ノ寫シヲモ送ルベキトス

第三章 假出獄及ヒ特別監視

是ノ章ハ刑法第一編第二章ノ第六節假出獄并ニ刑法第五十五條ノ特別監視ノ項ヲ明細ニセシモノニシテ刑法第十一條ニ云ヘル方法細目中ノ一ナリ

第三十八條 假出獄ヲ許ス可キ者アル時ハ典獄ヨリ其犯人ノ行狀及ヒ刑名入獄ノ年月ヲ記載シ假ニ出獄ヲ許サレントテ内務司法兩卿ニ上申シテ許可ヲ受ケ可シ

流刑ノ囚ヲ除クノ外重罪輕罪ヲ犯シタルモノ品行方正謹慎ニシテ眞ニ悔悟ノ意ヲ表スルモノハ刑法第五十三條以下ノ例ニヨリ獄司ヨリ囚人ノ行狀如何ト刑名ト獄ニ入リシ年月トヲ記シテコノ犯人ハ出獄ヲ許サレテ然ル可シト云フトテ内務司法兩卿ニ上申出デ其ノ許可ヲ受ケテ假出獄ヲナサシムベシ

但シ流刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サレザルニ換フルニ刑法第二十一條并ニ此ノ附則第十二條ニヨリ幽閉ヲ免スル丁アルナリ

第三十九條 假出獄ヲ許シタル時ハ典獄ヨリ其證票ヲ犯人ニ付ス可シ

第四十條 假出獄証票ニハ左ノ條件ヲ記載ス可シ

- 一 本人ノ屬籍氏名年齢住所罪名刑名及ヒ處刑ノ年月日
- 二 殘期何年何月何日間假出獄ヲ許ス事
- 三 假出獄中ハ特別監視ニ付ス可キ事
- 四 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ヲ刑期ニ算入セザル事

第四十一條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者假出獄中自ラ財產ヲ治メ若クハ職業ヲ營マントスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受ク可シ

假出獄ヲ許サレタル囚人重罪ノモノナレバ禁治産ノ附加刑アルモノユヘ刑法第五十五條ノ如ク其治産ノ禁ノ幾分ヲ解カレントテ其地ノ警察所ニ申出デ許可ヲ受

ク可シ

第四十二條 假出獄ヲ許ス可キ者ハ濠ノ其住所ヲ定メシメ出獄ノ日典獄ヨリ其証票ノ謄本ヲ添ヘ犯人ヲ其住居ノ地ノ警察所ニ護送シ特別監視ヲ執行セシムベシ

假出獄ヲ許ス可キ見込ノモノハ先ツ其犯人ノ住居ノ地ヲ定メシメ假出獄ヲナスノ日ニ犯人ニ渡シタル証票ノ寫ヲ犯人ニ添ヘテ犯人ノ住居スベキ地ノ警察所ニ護送シテ警察所ニテ特別ナル監視(次條々ノ如シ)ヲ執行セシムルナリ

第四十三條 特別監視ニ付スル者ハ第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十九條第三十一條ノ例ヲ適用ス

第四十四條 特別監視ニ付セラレタル者ハ其期限間左ノ條件ヲ遵守スベシ  
一 毎週間一度所轄ノ警察所ニ到リ其謹慎ナルヲ表シ監視ノ票ヲ出シ官吏ノ認印ヲ受クベシ但疾病又ハ已ムヲ得サル事故アリテ警察所ニ到ル不能ハサル時ハ其事由ヲ届出ツ可シ

通常ノ監視ニテハ一ヶ月ニ二度所轄ノ警察署ニ到ルトセラレタレハ特別監視ハ之レヲ嚴ニシテ一週間ニ一度トセラレタリ

二 酒宴遊興ノ席ニ會シ又ハ群集ノ場所ニ參會スルヲ許サス

三 事故アリテ住居ヲ轉移セントスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受ク可シ但他ノ府縣ニ轉移スルヲ許サズ

通常ノ監視ニテハ他ノ府縣ヘ住居ヲ轉移スルトモ許サル、ト虽モ特別ノ監視ニテハ一層之ヲ嚴ニシテ他ノ府縣ヘ轉移スルヲ許サレヌトス

四 往復一日程ヲ過クル地ニ旅行スルヲ許サズ  
通常ノ監視ニテハ已ムヲ得サル事故アラバ警察所ニ申請シ許可ヲ得テ遠方ニ旅行スルヲ許サレタレハ特別監視ハ大ニ之レヲ嚴ニシテ一日ニ往復ノデキル地ヨリ遠キニ旅行スルヲ許サズルナリ

第四十五條 特別監視ノ期限間ハ警察官吏時宜ニ因リ其家宅ニ臨檢スルヲアル可シ

第四十六條 假出獄ヲ許サレタル者刑期滿限ノ日ニ至レハ假出獄証票ヲ警察所ニ還納シ警察所ヨリ証票ヲ出シタル典獄ニ遞送ス可シ

主刑滿限ノ後監視ニ付ス可キ犯人ナル時ハ警察所ニ於テ第二章ノ例ニ從テ處分ス可シ

假出獄ヲ許サレタルモノ其ノ刑期満ツレバ眞ノ出獄トナルハ勿論ナルエヘソノ時ニ當リテハ其ノ假出獄ノ証票ヲ警察所ニ還納シ警察所ヨリハ之ヲ出シタル獄司ニ送り返ストス

主刑満期ノ後チ之レニ附スル監視アル片ハ其犯人ヲ監視ニ附スベキ執行ノ手續キハ一切第二章監視ノ第二十一條ヨリ第三十七條マデノ例ニ從フベシ

第四十七條 假出獄ヲ許ス可キ者住所ナク及ヒ引取人ナキ時ハ第三十二條ノ例ニ從ヒ監獄中ノ別房ニ留置ス可シ

第四章 刑事裁判費用

是ノ章ハ刑法第四十五條第四十七條第四十八條ノ徵償處分ノ中ニテ刑事ノ裁判費用ニ係ルモノヲ明詳ニセシモノニシテ刑法第十一條ニ云フ方法細目中ノ一ナリ

第四十八條 豫審公判ニ付キ呼出シタル証人醫師鑑定人通辨人翻譯人ニ給與ス可キ日當旅費止宿料及ヒ第五十一條第五十二條ニ記載シタル者ヲ以テ刑事ノ裁判費用ト爲ス

豫審(刑事ノ下吟味ノ下)ノ公判ニ付キ裁判所ニ呼出シタル証據人ヤ醫師ヤ鑑定人ヤ通辨人ヤ翻譯人ナドニ給與ス可キ旅費日當止宿料ヤ(次條ニ例載スルモノ)又ハ証人カ日稼ヲナスモノニテ別ニ旅費日當ノ外ニ償金ヲ要スルモノ、償金ヤラ(解剖合密ノ費用翻譯料ナドヲ總テ刑事ノ裁判費用トハ云フナリ)

第四十九條 日當旅費及ヒ止宿料ノ金額左ノ如シ  
日當五拾錢  
旅費一里十錢  
止宿料一宿二十五錢

住居三里以外ノ地ニ在ル者ハ往復旅費ヲ給シ及ヒ呼出ノ地ニ滞在中ハ日當並ニ止宿料ヲ給ス其三里未滿ノ地ニ在ル者ハ旅費止宿料ヲ給セス

第五十條 証人ノ日當旅費及ヒ止宿料ハ本人ノ請求アルニ非ザレバ之ヲ給與セス  
第五十一條 証人日稼ヲ以テ生業トスル者治罪法第九十條ニ從ヒ償金ヲ要求スル時ハ旅費日當ノ外若干ノ償金ヲ給スルコトアル可シ

若シ証人タルモノ日々働キ稼ギテ生業トスルモノナル時ハ旅費日當ノ外ニ其ノ

稼キ高二等シキ償ヒ金ヲ請求スル丁ヲ得ルナリ然ル片ハ豫審判事ヨリ其ノ高ヲ定メテ証人ニ言渡シ給與スル丁トス

第五十二條 解剖合密等ノ費用及ヒ數多ノ時間ヲ要スル翻譯料ノ類ハ日當ノ外別ニ之ヲ給與ス可シ

人身ヲ解剖スル入費ヤ金銀藥石ナドヲ分析スル費用ヤ又ハ時間ヲ費サデハ出來ガタキ翻譯ノ料ナドハ第四十九條ニ載スル所ノ旅費日當ノ外ニ其ノ費用ヤ翻譯料ナドヲ別ニ給與スル丁トス

第五十三條 裁判費用ノ宣告ヲ受ケ未ダ之ヲ納メザル前ニ於テ犯人身死スル時ハ其相續人ヨリ之ヲ徵收ス

犯人ニ裁判ノ費用ヲ納ム可キ言ヒ渡シテ受ケテ之ヲマケ納メザル前ニ犯人カ死スル時ハソノ相續人ヨリ之ヲ納メザレバナラヌナリ是レ裁判費用ハ犯人ノ犯罪ニ屬セスシテ財產ニ屬ス可キモノナルヲ以テナリ

第五章 賠償處分

刑法第四十六條ヨリ第四十八條マデノ徵償處分ノ中ニテ賠償ニ係ル者ヲ明細

ニセシモノニシテ是レモ亦タ刑法第十一條ニ云フ方法細目中ノ一ナリ

第五十四條 贓物犯人ノ手ニ在ル時ハ直チニ被害者ニ還付スル雖モ若シ轉轉シ他人ノ手ニ在ル時ハ被害者ノ請求ニヨリ還給セシムル者トス

即チ刑法第四十八條ニ云フ如ク贓物ガ犯人ノ手ニ所持シテアルナルナラハ直チニ之レヲ取上ゲテ被害者ニ還付セシムルニ選シ與フルベケレトモ犯人ノ手ニ無クシテ他人ノ手ニ渡リシモノハ被害者ヨリ請求スル時ハ還給ノ順序ヲ立レトモ被害者ヨリノ請求ナクバ指テ置クトス

第五十五條 贓物轉轉シテ他人ノ手ニ在ル時公商ニ由リ買取シタル物品ハ其公商若クハ被害者ヨリ買取者ニ原價ヲ償ハザレバ直チニ還給セシムル丁ヲ得ズ

犯人ガ贓物ヲ他ニ轉シタル時公商假令ハ衣類ハ古手商ノ取扱フベキモノノ書籍ハ書籍ノ取扱フベキモノノ瓦物ハ呉服店ノ取扱フベキモノタル如シヨリ他ノ人が買取リアルモノハ其買取タル人ハ即チ公商ノ手ヨリ買取リシモノナレバ素ヨリ立派ナル買取リナリ故ニ此買取人ハ所有ノ權ヲ十分ニ有スルモノナリトス此所有權アル人ヨリ其贓物ヲ取リ返サントセバ公商ヨリカヌハ被害者ヨリカ其ノ買取

代價ヲ償ハズンバ之レヲ取り返ス可ハザルモノナリ

若シ公商ニ由ラズシテ買取シタル物品ハ其還給ヲ拒ムコトヲ得ス但其買取者ハ賣者ニ對シ轉價ヲ求ムルコトヲ得

公商テ無キ者ヨリ買受シ物品故所有權ハナシ併シ賣主ニ對シ代價償ヲ求ムル權アリ

第五十六條 贓物ヲ受ケ又ハ典物トシテ受取タル者其贓物現在スル時ハ還給ヲ拒ムコトヲ得ス但典物シテ受取タル者典主ニ對シ轉價ヲ求ムルコトヲ得

犯人ノ贓物ヲ償ヒ受ケタルガ又ハ贓物ニ受取リタルモノカニシテ其贓物ガ現ニ其人ノ手ニアル時ハ之レヲ還給スルコトシ拒ムコト能ハザルナリ去レハ贓物トシテ受取リタルモノニ係ル時ハ贓物ヲ入レタルモノニ對シテ償ヲ求ムルカ或ハ其贓物ハ伐リ品ヲ入サス等ノ權利アルモノトス

第五十七條 贓物交換シテ現在スル時ハ公商ニ由ルト否ト之區別ニ第五十五條例ニ從テ處分スベシ

公商ハ贓物ヲ以テ他人ノ品物ト換ヘ他人ハ己レノ物品ヲ以テ贓物ト互ニ交換スル時ハ他人ハ之ヲ還給スルコトヲ拒ムノ權アリ是非之ヲ還給セシメントセバ其ノ償ヲ公商又ハ被害者ヨリ與ヘザルヲ得ズ去レハ公商ニ非ザルモノト交換シタル時ハ還給ヲ拒ムノ權ナキモノトス之レト雖モ贓物ヲ換ヘ受ケタルモノハ換ヘ與ヘタルモノニ償ヲ求ムルノ權ハアルナリ

第五十八條 贓物已ニ費用シタル時又ハ識別スヘカラザル時又ハ其所存ノ知レザル時ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第五十九條 人名譽若クハ殺傷ニ關シタル損害其他犯罪ノ爲メ現ニ生ジタル損害ハ其賠償ヲ請求スルコトヲ得但失火ハ此限ニ在ラズ

人名譽ヲ汚シタルヨリ生スル損害ヤ人ヲ傷殺シタルヨリ生スル損害ヤ其他犯罪ヲ犯シタルニ付キ生ジタル損害ナドハ素ヨリ犯人ニ其賠償ヲ求ムルコトヲ得ヘキモノナリト雖モ失火ノ如キニ至リテハ賠償ヲ求ムルコト能ハザルモノトス

第六十條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ其犯罪ヲ審判スル刑事裁判所ニ請求スルコトヲ得若シ其審判已ニ終リタル後ハ民事裁判所ニ非ザレハ之ヲ請求スルコトヲ得

犯人ヲ審判スル其ノ刑事裁判ヲ關キ中ナラバ夫レガタノ贓物ノ還給ヤ夫レガタノ損害ノ賠償ハ其ノ刑事裁判所ニ請ヒ求ムルコトヲ得ヘキモノナレハ已ニ其

犯人ヲ審判スル其ノ刑事裁判ヲ關キ中ナラバ夫レガタノ贓物ノ還給ヤ夫レガタノ損害ノ賠償ハ其ノ刑事裁判所ニ請ヒ求ムルコトヲ得ヘキモノナレハ已ニ其

犯人ヲ審判スル其ノ刑事裁判ヲ關キ中ナラバ夫レガタノ贓物ノ還給ヤ夫レガタノ損害ノ賠償ハ其ノ刑事裁判所ニ請ヒ求ムルコトヲ得ヘキモノナレハ已ニ其

犯人ヲ審判スル其ノ刑事裁判ヲ關キ中ナラバ夫レガタノ贓物ノ還給ヤ夫レガタノ損害ノ賠償ハ其ノ刑事裁判所ニ請ヒ求ムルコトヲ得ヘキモノナレハ已ニ其

犯人ヲ審判スル其ノ刑事裁判ヲ關キ中ナラバ夫レガタノ贓物ノ還給ヤ夫レガタノ損害ノ賠償ハ其ノ刑事裁判所ニ請ヒ求ムルコトヲ得ヘキモノナレハ已ニ其



審判終リタル後ナラハ新ニ民事裁判所ニ請求ノ訴ヘテ爲セバナラズナリ  
是レ民事裁判所ハ犯罪者ヲ裁判スル所ニシテ損害ニ關スルハ民事裁判所ニ關  
スルヲ以テナリ

第六十一條 刑事裁判所於テ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ請求スル者ハ通常文書又  
公證書以テ之ヲ爲スヲ得其民事裁判所ニ請求スル者ハ民事訴訟ノ程式ニ從フニシ

刑事裁判所ハ犯罪者ヲ取調中大レニ付ケテ取扱フモノニシテ還給ヤ賠償ナドノ  
訟ヲ聽ク所ニ非ザル者ナレバ別ニ訴訟ノ式ヲ用ヒズ言語ニテナリ凡通例ノ文書  
ニテナリ凡諸求スル下差問ザルモノトス去レ凡之レヲ民事裁判所ニ訴フルニ至  
ルハ夫々ノ訴訟ノ式ニ依ヒ願ハズバナラヌナリ

第六十二條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ本犯死スル時ハ其相續人ニ對シ之ヲ要求スル  
ヲ得

第六十三條 贓物ノ還給損害ノ賠償ノ宣告ヲ受ケタル者還給對償セザル時ハ被害者  
ヨリ更ニ民事裁判所ニ身代限ノ處分ヲ請求スルヲ得

大日本刑罰法附則註釋終

刑法附則註釋大成附錄

○刑法ト法律規則中罰例ト對比

刑法第一編總則中第一章法例中ノ條項ヲ對照比準セシモノニ係ル

太政官明治十四年第七十二号布告十二月廿八日

明治十五年一月一日ヨリ刑法施行候ニ付法律規則中罰例ニ係ルモノハ左ノ例ニ照シ  
テ處斷ス可シ

刑法第五條ニ云ク此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律  
規則ニ從フト本條ハ其ノ他ノ法律規則ノ罰例ニアル刑名ヲ刑法ノ刑名ニ照シタ  
ルモノナリ

第一條 凡微役ハ十一日以上ヲ重禁錮ニ處シ十日以下ヲ拘留ニ處ス

第二條 凡禁獄及ヒ禁錮ハ十一日以上ヲ輕禁錮ニ處シ十日以下ヲ拘留ニ處ス

別ニ定メタル法律規則ノ罰例ニ懲役ト稱スアルモノハ其ノ刑期ノ長短ニヨリテ  
重禁錮ト拘留トニ別ツ之レ稱律ニテモ懲役ハ定役ニ服セシメ禁獄禁錮ハ定役ニ  
服セシメザルヲ以テナリ

第三條 凡罰金及ヒ科料ハ二圓以上ヲ罰金ニ處シ二圓未満ヲ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第四條 法ニ照シ律ニ照シ若クハ違令違式ニ照シ處斷ストアリ及ヒ咎可申付トアルハ總テ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

法律規則ノ罰例中刑名ノミアラザルモノ又ハ違令違式ニ問ヒ又ハ咎可申付ナドノ定有タル罰例アルモノアリ是レ等ハ總テ罰金ニ處スルト改メラレタリ

第五條 法律規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ再犯加重及ヒ數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第六條 法律規則中罰例アリト雖モ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依テ處斷ス

タトヘ法律規則ノ罰例ニ刑名ノ明文アルモノモ刑法ニモ同ジクソノ刑名ヲ載セテアルモノハ刑法ノ本條ニ依リテ處斷スルナリ猶ホ度量衡ノ罰例ハ法律規則中ニア

ルモ刑法第二編第四章第七節ニ度量衡ヲ偽造スル罪トアルニ因リ其偽造ハ刑法ノ本條ニテ處斷スルノ類ノゴトシ

第七條 前數條ノ罪ヲ犯シ拘留科料ニ處スル者ト雖モ輕罪裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス但始審裁判所所在ノ地ヲ除ク外ハ治安裁判所ニ於テ之ヲ裁判スルヲ得

○新舊律對比

刑法註釋附録

刑法第一編總則第一章法例中ノ條項ヲ明細ニ掲ゲシモノニ係ル  
太政官明治十四年第八十一号布告十二月廿八日

刑法第三條第二項ニ依リ新舊法ヲ比照スルニハ左ニ從フ可シ

刑法第三條第二項ニハ若シ所犯領布以前ニ在テ未タ判決ヲ經ザル者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ストアリ是レ即チ其ノ條項ヲ明細ニ補ヒシモノナリ

新法

舊法

一 死刑

斬絞

二 無期徒刑

懲役終身

三 有期徒刑

四 無期徒刑

禁獄終身

五 有期徒刑

六 重懲役

懲役十年

七	輕懲役	懲役七年
八	重禁錮	禁獄十年
九	輕禁獄	禁獄七年
十	重禁錮	懲役十一日以上五年以下
十一	輕禁錮	禁獄銷錮十一日以上五年以下
十二	罰金	贖罪收贖罰金料二圓以上
十三	拘留	懲役禁獄銷錮拘留十日以下
十四	科料	贖罪收贖罰金料二圓未滿

第二條 舊法ノ刑期新法ノ主刑ノ刑期內ニ在ル時ハ新法ニ從フ但舊法ノ刑期ニ過ク  
ルコトヲ得ス舊法ニ於テ懲役百日ニ諛ル者新法ニ照シ二月以上四年以下ノ重禁錮  
ニ諛ル時ハ新法ニ從ヒ二月以上百日以下ノ重禁錮ニ處スルノ類  
若シ舊法ノ刑期新法主刑ノ短期ニ等シクシテ舊法ニ定役ナク新法ニ定役アル時ハ  
舊法ニ從フ舊法ニ於テ禁獄三十日ニ諛ル者新法ニ照シ一月以上一年以下ノ重禁錮  
ニ諛ル時ハ舊法ニ從ヒ禁獄三十日ニ處スルノ類

舊法ニ懲役百日ト掲ゲアル刑ニシテ新刑法ニハ重禁錮二月以上四年以下トアル 時ハ二月ハ百日ヨリ輕シト虽モ四年ハ百日ヨリ多キヲ以テ二月以上百日以下ノ 重禁錮ニ處スルトスコレ即チ新法ノ刑ノ短期ガ舊法ノ刑期ニ超過セザルエハナ リ但シ長期ハ百日ヲ超過スルエハ新法ニテ短期ハ其ノ儘(二月)ニ存シテ長期ハ百 日ニ短縮スルトス
舊法ニ禁獄三十日トアル刑ニシテ新法ニハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處スト アル代ハ新法ノ短期ト舊法ノ刑期ト同一ナルエハ新舊法ニ處シテモ可ナルヘ キガ如シト雖モ定役アルモノトナキモノトハ即チ定役アルモノヲ重シトシナキ ヲ輕シトス然ルニ新法ノ短期ト舊法ノ刑期ト均シキエハ新法ニテ減輕スヘキ刑 期トナス故ニ定役ナキ舊法ノ禁獄三十日ニ處スルヲ以テ輕シトスルナリ

第三條 舊法新法ノ刑共ニ短期長期アル者ハ其短期ノ短キ者ニ從フ但其長期ノ短キ  
者ニ過ルヲ得ス(舊法ニ於テ一年以上三年以下ノ懲役ニ諛ル者新法ニ照ラシ三月  
以上四年以下ノ重禁錮ニ諛ル時ハ新法ニ從ヒ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處スル  
ノ類)

若シ舊法新法ノ刑其短期等シクシテ舊法ニ定役ナク新法ニ定役アル時ハ舊法ニ從  
テ舊法ニ於テ二月以上三年以下ノ禁獄ニ諛ル者新法ニ照ラシ二月以上二年以下ノ  
重禁錮ニ諛ル時ハ舊法ニ從ヒ二月以上二年以下ノ禁獄ニ處スルノ類

又トハ今マ舊法ニ懲役一年以上三年以下トアル刑ニシテ新刑法ニハ三月以上  
四年以下トアル刑ハ短期ハ新法ノ方ガ短カケレ長期間ハ舊法ノ方ガ短キエハ新  
法ノ短期ト舊法ノ長期トヲ取リテ新法ノ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處スルナ  
リ是レ長期短期トモ新舊ヲ比照シテ長カラシメザルユヘナリ

舊法ニ禁獄二月以上三年以下ト載セアル刑ニシテ新法ニハ二月以上二年以下ノ  
重禁錮ニ處ストアル時ハ刑期ヲ以テ論スレバ直チニ新法ヲ以テ處分シテ可ナル  
如クナレハ一ハ定役ナキモノ一ハ定役アルモノナルニヨリ定役ナキ舊法ニヨリ  
禁獄ヲ以テ處分ス但シ長期ハ舊法ノ方ガ長キエハ新法ノ長期二年ニ減シテ二月  
以上二年以下ノ禁獄トナスナリ

第四條 舊法ノ贖罪收贖若クハ罰金科料ノ金額新法主刑ノ金額内ニ在ル時ハ新法ニ  
從フ但舊法ノ金額ニ過ルコトヲ得ス

刑法註釋附録

第五條 舊法新法ノ罰金科料共ニ多數寡數アルモノハ其寡數ノ寡キ者ニ從フ但シ其  
多數ノ寡キ者ニ過ゲルコトヲ得ス

第六條 舊法ニ於テ單ニ體刑ニ諛ル者新法ニ於テ罰金ヲ附加ス可キ時ハ其罰金ヲ附  
加セス

體刑トテ懲役禁獄禁錮舊法ニ諛ルモノ新法ニ比較シテ新法ニテハ罰金ヲ附加ス  
トアルモノハ其ノ附加刑ヲ執行セザルナリ

第七條 舊法ニ於テ體刑ニ諛ル者新法ニ於テ罰金科料ニ諛ル時ハ新法ニ從フ

舊法ニ於テ贖罪收贖若クハ罰金科料ニ諛ル者新法ニ照シ體刑ニ諛ル時ハ舊法ニ從フ

第八條 舊法ニ從ヒ贖罪收贖ニ處シタル者其金額ヲ延期限内ニ納完スル能ハザル時  
ハ一圓ヲ一日ニ折算シ輕禁錮又ハ拘留ニ換フ但一圓未滿ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス  
延期限内トハ裁判確定後一ヶ月内ヲ云フモノニシテ刑法第二十七條ニ載スル如  
キ罰金ヲ禁錮ニ換フルコトヲ云フモノナリ其ノ詳細ハ刑法ノ本條ニ就テ見ルベシ

第九條 舊法ニ於テ體刑ニ諛ル者新法ニ從ヒ重罪ノ刑ニ處スル時ハ新法ノ附加刑ヲ  
適用セズ但除族追奪位記沒收ノ類ハ舊法ニ從フ

何ノ罪ニテモ舊法ニハ總テ附加刑ト云フ者ナシ新法ニテハ重罪ニ諛レバ必ズ附加刑アリ故ニ舊法ニ體刑ニ諛リシモノ新法ニテ重罪ニ處スルモノハ附加刑ヲ適用セズ是レ附加刑アルハ無キヨリモ重キモノナルユヘ都テ從輕ノ主旨ニ因リテ斯クハセラレシモノナルベシ

第十條 舊法ニ於テ體刑ニ諛ル者ノ新法ニ從ヒ禁錮刑ニ處スル時ハ監視ヲ附加セス  
第十一條 華士族ノ犯罪新法ニ於テ輕罪ニ諛ル者舊法ニ從ヒ處断スル時ハ其族ヲ除セス

舊法ニ依ルキハ華士族ハ一年以上ノ刑ニ諛レバ除族セララル、モノナレバ新法ノ輕罪ニテハ附加刑ノ有ルト無キトアリテ舊法ノ除族ニ適用スベカラザルモノユヘ斯クハ族ヲ除セザル丁トセラレタル可シ

第十二條 新法ト舊法トヲ比照スルニハ各其本法ニ照シ加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

第十三條 舊法ニ於テ棒鎖ニ諛ル者ハ仍ホ棒鎖ニ處ス  
刑法附則註釋大成附錄終

明治十五年二月廿一日版權免許

定價金壹圓

廣嶋縣士族

編述人

戸田十畝

縣下備後國御調郡

山中村千五百六十七番邸

大阪府平民

吉岡平助

府下攝津國東區備後町

四丁目三十七番地

出版人

○大日本陸軍 懲罰令註釋

戸田十畝編述

小本全志冊

美製假名附

本書ハ陸軍刑法及懲罰令ニ註釋ヲ施シ且ツ童蒙ニ解シ易キヲ旨トシテ而假名ヲ附シタ  
ル書ナレバ普通刑法ト併讀セザル可カラサル書ナリ

○釐頭刑法 解釋

三輪堅藏解

美製袖珍本  
全二冊

本書ハ刑法治罪法ニ句讀訓解ヲ施シ專ラ幼童婦女子ニ解シ易カラントヲ旨トシタル書  
ナレバ何人タリトモ之ニ由テ學ババ意味深遠ナル法律モ容易ク律意ヲ覺ルヲ得可シ

○刑法附則 解釋附録

三輪堅藏解

寸珍本  
全一冊

本書ハ新律實施ノ秋ニ當リ本法ニ關スル太政官及ヒ司法省ヨリノ御布告達等ヲ悉ク蒐録シ解  
釋ノ体ニ切ト句讀訓解ヲ施シ解釋ノ附録トナシタルナレバ解釋ト併セ見ルベキノ要書ナリ

○標題 萬國蒙求校本

遂軒關 先生校  
海關橋本 先生著

漢文大本  
全三冊

本書ハ李瀚蒙求ニ倣ヒ字内萬國古人ノ言行善惡ノ兩々相類似スル者ヲ叙列シ韻語ヲ以テ標  
題ヲ舉ケ諷誦シテ記スルニ易カラム世ノ童蒙ヲシテ之レヲ讀マシメバ自ガ志氣ヲ暢發シ  
善惡勸懲ノ一助トナラシカ諸君一讀ヲ希フ

